SHARP

取扱説明書

パーソナルコンピュータ

PC-GP1

シリーズ

Mebius

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように示しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ **注意**	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

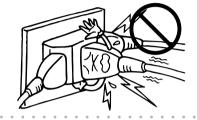
絵表示の意味（絵表示の一例です）

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

電源は AC100V のコンセントを使用してください。
それ以外の電源で使用すると、火災の原因になります。

電源コードのプラグは、直接コンセントに接続してください。
タコ足配線は過熱し、火災の原因になります。

お客様による分解や修理・改造はしないでください。
故障したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
また重い物を載せたり、引っ張ったり、ねじったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため火災・感電の原因になります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリパックを取り外してください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

本機を持ち運ぶ際は、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
落とすと足をけがすることがあります。

電源コードは、電源プラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

夜間など長時間使用しないときは、安全のために必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

バッテリパックやバックアップ電池は誤った使い方をすると破裂や発火の原因になります。また、ショートして過熱したり他のものを傷つけることがあります。次のことを必ずお守りください。

- 金属小物(鍵、装飾品など)といっしょにポケットやカバンなどに入れないでください。
- 端子をショートさせないでください。
- 火の中に入れないでください。
- 分解しないでください。
- バックアップ電池を交換するときは、必ず指定の電池をお使いになり、電池のプラス“＋”の向きを表示通り正しく入れてください。

この商品に使用しているバックアップ電池を取り外した場合は、小さなお子様が電池を誤って飲むことがないようにしてください。電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

ぬれた手で使用したり、まわりに水など液体の入った容器を置かないでください。
中に水が入ると、火災・感電の原因となることがあります。

本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。
落ちたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

目の健康のために、次のことを必ずお守りください。

- 連続して長時間使用される場合は、1 時間ごとに 10 ～ 15 分休憩し、目を休ませてください。
- 操作する場所の明るさは、新聞が楽に読める程度（約500ルクス）が適切です。明暗の差が大きいところでは使用しないでください。
- 戸外の光や照明が画面に反射して見えるところでは、使用しないでください。
- ディスプレイは、目の高さよりやや低く、目から 40 ～ 60cm 離して使用してください。

長時間にわたり本機底面をひざの上などに直接触れてのご使用はしないでください。

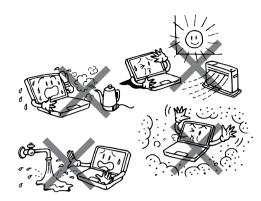
低温やけどをおこす恐れがあります。

お願い

設置するときのお願い

本機を次のようなところには設置しないでください。

変色・変形・故障の原因になります。

- **直射日光の当たるところや暖房器具の近く**
- **温度が非常に高いところや低いところ**
- **湿度が高いところ**
- **ほこりの多いところ**
- **水などの液体がかかるところ**
- **振動や衝撃などを受けるところ**

通風孔をふさがないでください

本機をじゅうたんや布団の上に置いたり、周りに物を置いたりして、通風孔をふさいで放熱を妨げないでください。本機内部の温度が上がると故障の原因になります。

お使いになるときのお願い

本機の上に重い物をのせたり、押さえ付けたりしないでください。

破損・故障の原因になります。

本機を強くたたいたり、落としたり、裏向けたりして衝撃を与えないでください。

本体およびハードディスクの故障の原因になります。

ディスプレイは傷が付きやすいので、先のとがったもの(シャープペンシル、ボールペンなど)でディスプレイ表面をたたいたり、ひっかいたりしないでください。

雷が鳴り始めたら電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、モデムケーブルを本機から抜いてください。

落雷によって本機が破壊される恐れがあります。

ハードディスクが故障したり、データが消失した場合に備えて、重要なデータは定期的に CD-R やフロッピーディスクなどに保存しておいてください。

お願い

持ち運ぶときのお願い

本機を持ち運ぶときは、次の注意を守ってください。

データが失われたり、ハードディスクの故障の原因になります。

- **フロッピーディスクや CD などのディスクをドライブから出す**
- **電源を切る**
- **本機に接続されている周辺機器やケーブル類はすべて取り外す**
- **衝撃を与えない**
- **ディスプレイを持たない**

10℃以上の温度差がある場所へ急に移動しないでください。

温度が急激に変化するとデータの読み書きが正常に行われない場合があります。

また、温度の低い場所から高い場所に急に移動すると、本体内部に結露が発生します。その場合は、電源を入れずに約 1 時間放置して、露（水滴）が完全に乾いてから、ご使用ください。

TFT カラー液晶パネルについて

TFTカラー液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

電波障害に関するお願い

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときには、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分離してご使用ください。
- この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

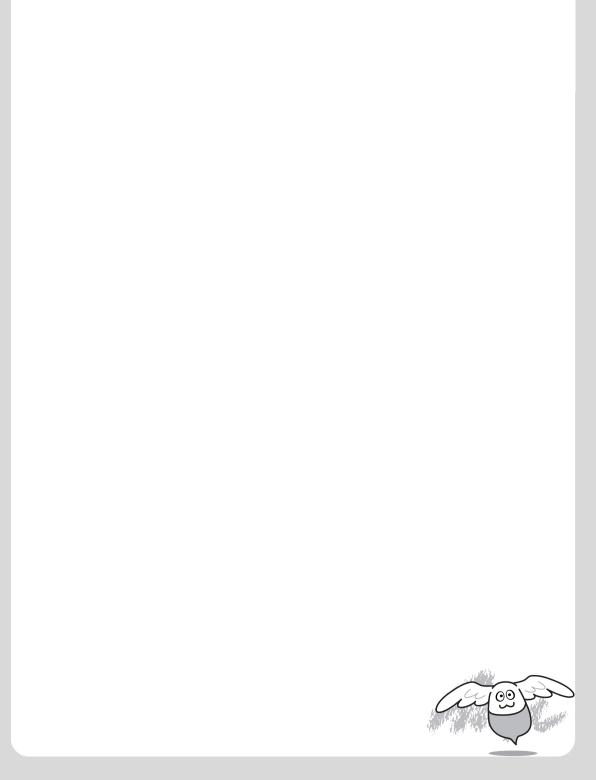
お願い

充電式電池のリサイクルご協力お願い

この商品のバッテリパックにはニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、およびご使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

- ご使用済みの電池は、「当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ 商品取り扱いのお店へご持参ください。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  - ・端子部にテープを貼る。
  - ・外装カバー（被覆・チューブなど）を剥がさない。
  - ・分解しない。

著作権等に関するお願い

本機種を利用して音楽用CD等各種CD、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を越えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、本機種において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控え頂くことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

お客様へのお願い

本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」をご使用いただく前に、下記の契約書をよくお読みください。

このたびは、弊社パーソナル・コンピュータをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
お客様が購入された本パーソナル・コンピュータ「メビウスシリーズ」(以下「本製品」と記載します)にプリインストール または 添付されていますシャープオリジナルソフトウェア(以下「本ソフトウェア」と記載します)をご使用いただく前に下記の契約書をよくお読みください。本契約書にご同意いただけない場合には、本製品を未使用 ・本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを未開封のまま本製品をお求めになった販売店にご返却ください。
お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。本契約書にご同意いただいた方のみ、本ソフトウェアをご使用いただくことができます。

ソフトウェア使用許諾契約書

シャープ株式会社(以下 「弊社」と記載します)は、お客様(法人または個人のいずれであるかを問いません)に、本製品にプリインストールまたは添付されている「本ソフトウェア」を使用する権利を下記条項に基づき許諾します。お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアのパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。

1. 著作権

(1) お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを日本国内で使用する、非独占的な権利を本契約に基づき取得します。
(2) お客様は、本ソフトウェアを、本製品のみでご使用いただけます。
(3) お客様は、本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的においてのみ本ソフトウェアの全部または一部を一部数に限り複製することができます。ただし、本ソフトウェアの複製物を記録した媒体(フロッピーディスク、CD-ROM等)が本製品に添付されている場合には、お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。この場合、お客様は本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的で、本製品に添付された当該複製物を取り扱うものとします。
(4) 本条第2項、および第3項にかかわらず、お客様は「EVA アニメータ」に収録されている「EVA アニメータプラグイン」およびサンプル素材集を第三者に自由に配布することができます。
(5) お客様は「EVA アニメータ」に収録されているサンプル素材集を自由に加工して使用することができます。

2. 権利の許諾

(1) 本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属 又は 第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。したがってお客様は、本ソフトウェアを他の著作物と同様に扱わなければなりません。
(2) 本ソフトウェアとともにお客様に提供されるマニュアルおよび取扱説明書等の関連資料(以下「関連資料」と記載します)の著作権は、弊社に帰属し、これら関連資料は日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。お客様はこれら関連資料を複製することはできません。

3. 制限事項

(1) お客様は、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
(2) お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアの使用、全部または一部を複製、改変等をすることはできません。
(3) お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去することはできません。上記(2)に基づき本ソフトウェアを複製する場合には、本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示も同時に複製するものとします。
(4) お客様は、本ソフトウェアを第三者に使用許諾、貸与またはリースすることはできません。
(5) 第1条第4項および第5項にかかわらず、「EVA アニメータ」に収録されている「EVA アニメータプラグイン」およびサンプル素材集の全部または一部をそのまま、もしくは改変し、商品として製造・販売することはできません。

4．本ソフトウェアの譲渡

お客様は、下記のすべての条件を満たした場合に限り、本ソフトウェアの本契約に基づく使用権を第三者に譲渡することができます。

i）お客様が本契約書、本ソフトウェアを含む本製品、本ソフトウェアのすべての複製物およびその記録媒体、ならびに関連資料を含む本製品のすべてを譲渡し、これらを一切保持しないこと。

ii）譲受人が本契約に同意していること。

5．限定保証

（1）弊社は、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。したがって、本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

（2）上記（1）にかかわらず、お客様が必要事項を記入した 別添のユーザー登録／愛用者カードまたはオンラインユーザー登録を弊社まで返送された場合において、最初にご購入されたお客様が本製品をご購入された後１年以内に、弊社が本ソフトウェアの誤り（バグ）を修正した場合には、弊社はお客様に対して、修正されたソフトウェア、修正のためのソフトウェア（以下、これらのソフトウェアを「修正ソフトウェア」と記載します）、またはこのような修正に関する情報を提供いたします。ただし、修正ソフトウェアまたはこのような修正に関する情報の提供の必要性、提供時期、提供方法等に関しては、すべて弊社の裁量により決定させていただきます。お客様に提供された修正ソフトウェアは本ソフトウェアとみなします。

（3）本ソフトウェアの記録媒体に物理的欠陥（ただし、プログラムおよび／またはデータの読み出しが不可能な場合に限ります）があり、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合、最初のお客様が本製品を購入された日から14日以内に本製品の保証書を添えてお求めになった販売店に当該記録媒体を返却された場合には、弊社は無償で当該記録媒体を同等の記録媒体と交換するものとします。

本項の規定をもって本ソフトウェアの記録媒体に関する弊社の保証のすべてといたします。

6．責任の制限

（1）弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、一切責任を負いません。

（2）いかなる場合においても、本契約に基づく弊社の責任はお客様が実際にお支払いになった本製品の代金のうち本ソフトウェアの代金相当額をその上限とします。

7．契約の期間

本契約は、お客様が本製品を使用されたとき、または 本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封されたとき発効し、下記８．により本契約が終了するまで有効であるものとします。

8．契約の終了

（1）お客様は、書面により事前に弊社まで通知することにより、いつでも本契約を終了させることができます。

（2）弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。

（3）上記（2）の場合、弊社は、お客様によって被った損害をお客様に請求することができます。

（4）お客様は、本契約が終了したときは、直ちに本ソフトウェアおよびそのすべての複製物ならびに関連資料を破棄するものとします。

9．その他

（1）お客様は、いかなる方法および目的によっても、本ソフトウェアおよびその複製物を日本国外に輸出してはなりません。

（2）本契約に関連または起因する紛争は、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

シャープ株式会社　情報システム事業本部

〒639-1186

奈良県大和郡山市美濃庄町 492 番地

電話（0743）53-5521 番

はじめに

このたびは、シャープパーソナルコンピュータをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障や不具合がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
付属の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- この製品を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。またこの取扱説明書は、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。
- 当社は、この製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、この製品においてソフトウェアを使用された結果に関して、いかなる保証も致しかねますのであらかじめご了承ください。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- お客様または第三者が、この製品の使いかたを誤ったときや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
  重要な内容は、必ずCD-Rやフロッピーディスクなどの記録媒体に記録し保管してください。
- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

商標、登録商標など

・Microsoft、Windows、Outlook、Bookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。また、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
・Bookshelf Basicは、次の書籍を基に制作されました。『新英和中辞典』第6版 ©研究社 1967, 1994, 1998、『新和英中辞典』第4版 ©研究社 1933, 1995, 1998、『新明解国語辞典』第5版 ©三省堂 1972, 1974, 1981, 1989, 1997
・AMD、AMD Duron、並びにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

・S3 および Savage4 は、米国 S3 社の商標です。
・K56flex は、Lucent Technologies 社と Rockwell International 社の商標です。
・cdmaOne は、CDG（CDMA Development Group）の商標です。
・ドッチーモは、NTT ドコモより登録商標出願中です。
・CompactFlash（コンパクトフラッシュ）、CFは、米国SanDisk Corporationの商標です。
・スマートメディアは、株式会社東芝の商標です。
・MegaVi は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
・WinDVD は、InterVideo, Inc. の商標です。
・ドルビー、DolbyおよびダブルD記号「DD」は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

・ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
・非公開機密著作物。著作権 1992-1997 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。
・Adaptec は、Adaptec, Inc. の登録商標です。
・Easy CD Creator、DirectCD は、Adaptec, Inc. の商標です。
・筆王は、株式会社アイフォーの登録商標です。
・PowerQuest は、PowerQuest Corporation の登録商標です。
・EasyRestore は、PowerQuest Corporation の商標です。
・DION は、KDDI 株式会社の登録商標です。
・@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。
・AOL は、AOL の登録商標です。
・ODN は、日本テレコム株式会社の登録商標です。
・BIGLOBE は、日本電気株式会社の登録商標です。
その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。』

準備と確認（この説明書の読み方と電源の入れ方）

この説明書の読み方 18
電源の入れ方・切り方 20

インターネット（インターネットを楽しもう）

インターネットの準備をする 24
パソコンを設置する 26
電話回線でインターネットに接続する 27
使用する電話回線の情報を登録する 30
複数の電話回線を使い分ける 33
携帯電話でインターネットに接続する 35
カード型 PHS でインターネットに接続する 39

データ転送（データをやりとりしよう）

メモリカードでデータをやりとりする 42
デジタルカメラの画像を取り込む 44
デジタルビデオカメラの映像を取り込む
（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ） 46
ネットワークに接続する（LAN） 49

AV（音楽や DVD ビデオを楽しもう）

音楽を聴く 54
DVD ビデオを見る（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ） 56
パソコンリンク機能付き MD に録音する 62
オーディオ機器に接続する 65

基本操作（操作のしかたを確かめよう）

バッテリを使いこなす 68
消費電力を節約する 76
パッド型ポインティングデバイスを使う 80
キーボードを使う 84
ディスプレイの明るさ・解像度・壁紙を変える 89
CD・DVD からデータを読み取る 92
CD-R/RW にデータを書き込む 97
フロッピーディスクに保存する 99
音量を調節する 103
大切なデータをバックアップする 105

周辺機器（周辺機器を接続しよう）

接続できる機器を確かめる 112
USB 機器を使う 114
IEEE1394 機器を使う（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ） ... 116
プリンタで印刷する 118
外部ディスプレイに表示する 120
PC カードを使う 123
外部機器から音声を入力する 127
メモリを増設する 128

付録

シャープ独自のフォントを使う 134
オリジナルの外字を使う 136
セットアップユーティリティ 137
パソコンのお手入れ 144
盗難を防止する 145
バックアップ電池を交換する 146
故障かな？と思ったら 149
ご購入時の状態に戻す（再インストール） 159
各部の名称 176
さくいん 180

準備と確認

この説明書の読み方と電源の入れ方

知りたい操作からお読みいただけるように、この説明書は目的別の章構成になっています。
電源の入れ方と切り方については、この章でご確認ください。

この説明書の読み方

この説明書は目的別構成になっています。電源を入れた後は、操作したい内容の章からお読みください。

インターネットを楽しもう［インターネットの章］

インターネットに接続したい、というときにお読みください。携帯電話でインターネットに接続する方法についても説明しています。

データをやりとりしよう［データ転送の章］

データをやりとりしたい、というときにお読みください。PCカードなどの利用やネットワーク接続など、いろいろな方法があります。

音楽や DVD ビデオを楽しもう［AV の章］

音楽を聴きたい、またはDVDビデオを見たい、というときにお読みください。外部スピーカで聴くとき、オーディオ機器に接続するときの操作も紹介しています。

操作のしかたを確かめよう［基本操作の章］

このパソコンの基本的な操作を知りたい、というときにお読みください。

ACアダプタを外して使用するときは、冒頭の「バッテリを使いこなす」を必ずお読みください。また、大切なデータをバックアップする方法も紹介しています。

周辺機器を接続しよう［周辺機器の章］

周辺機器と接続してパソコンを活用したい、というときにお読みください。

プリンタに接続して印刷したり、PCカードなどを使って機能を拡張する方法などを紹介しています。

付録

操作中にパソコンが動作しなくなったり、思った結果にならないときは「故障かな？と思ったら」をお読みください。また、ハードディスクの内容をご購入時の状態に戻す方法も紹介しています。

「各部の名称」と「さくいん」から、操作説明を探すこともできます。

この説明書の表記方法

この説明書で使用している記号について

⚠ 注意	無視すると、使用者が損害を負う可能性のある注意事項を記載しています。
ご注意	パソコンや周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
	知っておくと便利なパソコンの基礎知識などを記載しています。
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

キーの表示について

キーボードのキーを押す操作では、キーを枠で囲んでいます。

また、複数のキーを同時に押すときは、「＋」でつないで表記しています。

例）Fn ＋ F7

画面上のボタンについて

画面に表示されるボタン（ OK など）は、［　］で囲んで表記しています。

例）［OK］をクリックします。

画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や、画面やアイコンの名称などは、「　」で囲んで表記しています。

例）
- スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。
- 「画面のプロパティ」画面が表示されます。

文字入力について

キーボードを使って文字を入力する内容は、太字または「　」で囲んで表記しています。特に指定がない限り半角文字を入力してください。

文字入力に大文字・小文字の区別はありませんが、本書では大文字で表記しています。

例）**C:￥MNMANUAL￥SAMPLE.BMP** と入力します。

モデルごとの説明とイラストについて

本書はシリーズ共通の説明書です。操作については、各モデルとも基本的に同じです。各モデルの仕様は、「仕様一覧」（別紙）を参照してください。

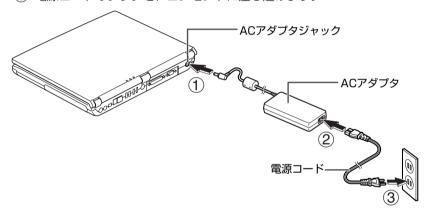
本書のイラストは、CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルを使用しています。

準備 電源の入れ方・切り方

基本的な電源の入れ方と切り方を確認しましょう。
初めて電源を入れるときは、「はじめにお読みください」(別冊)を参照してください。

電源を入れる

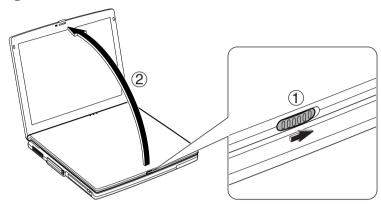
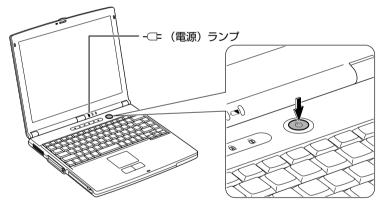
1 パソコンを電源コンセントに接続します。
下図のように、付属の電源コードと AC アダプタを使って接続します。

① ACアダプタのコネクタを、パソコンのACアダプタジャックに「カチッ」と音がするまで差し込みます。
② 電源コードを、AC アダプタに接続します。
③ 電源コードのプラグを、コンセントに差し込みます。

ご注意

- ①②③ の各接続部はしっかりと奥まで差し込んでください。
- AC アダプタは、必ずこのパソコンの付属品(EA-RJ1V)を使用してください。他の AC アダプタを使用すると故障の原因になります。

2 ディスプレイを開きます。

① レバーを右側にスライドします。

② レバーをスライドさせた状態でディスプレイを開きます。

3 電源ボタンを押します。

（電源）ランプが緑色に点灯し、Microsoft Windows Millennium Edition（以下 Windows Me と表記します。）が起動します。

ご参考

- ACアダプタを外して、バッテリで使用しているときは、 ランプの隣の （バッテリ）ランプが緑色に点灯します。
- 電源が入っているときは、電源ボタンの周りが緑色に点灯します。
- 一定時間パソコンを操作しないでいると、節電機能が働いて画面の表示が消えます。何らかのキーを押すか、パッド型ポインティングデバイスを操作すると、再び表示されます。

電源を切る

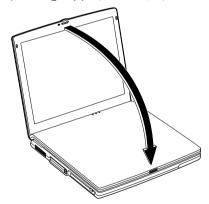
1 ［スタート］をクリックします。

スタートメニューが表示されます。

2 「Windows の終了」をクリックします。

3 「終了」が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

パソコンの電源が切れ、 ランプ（バッテリ動作時は ランプ）が消えます。

4 「カチッ」と音がするまでディスプレイをゆっくりと閉じます。

ご注意

再び電源を入れるときは、必ず10秒以上の間隔をおいてください。連続して電源を切ったり入れたりすると、故障の原因になります。

インターネット

インターネットを楽しもう

インターネットを楽しむといっても人それぞれ・・・
世界中の情報を見るだけでなく、チケットの予約やさまざまなショッピングもできます。また、インターネットで知り合った友達とメールをやりとりしたり、ホームページを作って公開することもできます。いろいろ試して、自分らしい楽しみ方を見つけましょう。

インターネットの準備をする

インターネットは、世界中のコンピュータをつないでいるネットワークです。このネットワークを利用して、ホームページを見たり、電子メールをやりとりすることができます。

インターネットに接続するための準備をしましょう

「はじめにお読みください」（別冊）でシャープへのオンラインユーザ登録時にSharp Space Townへの入会（無料体験、または正式入会）申し込み

- した
- していない → Sharp Space Townへ オンライン で入会（無料体験、または正式入会）申し込み

「した」の場合

パソコンを設置します

電話回線やコンセントの位置を確認して、パソコンを置く最適な場所を決めて、パソコンを設置します。**パソコンを設置する**（☞26ページ）を参照してください。

お使いの電話回線に接続します

- 家庭用一般電話回線（アナログ回線）
  家庭用一般電話回線に接続する（☞27ページ）を参照してください。
- 「0」などの外線発信番号が必要
  使用する電話回線の情報を登録する（☞30ページ）を参照してください。
- ISDN回線など（デジタル回線）
  デジタル回線に接続する（☞29ページ）を参照してください。
- 携帯電話
  携帯電話でインターネットに接続する（☞35ページ）を参照してください。

Sharp Space Townへ オンライン で入会（無料体験、または正式入会）申し込み

- する
- しない

「する」の場合

パソコンを設置します

電話回線やコンセントの位置を確認して、パソコンを置く最適な場所を決めて、パソコンを設置します。**パソコンを設置する**（☞26ページ）を参照してください。

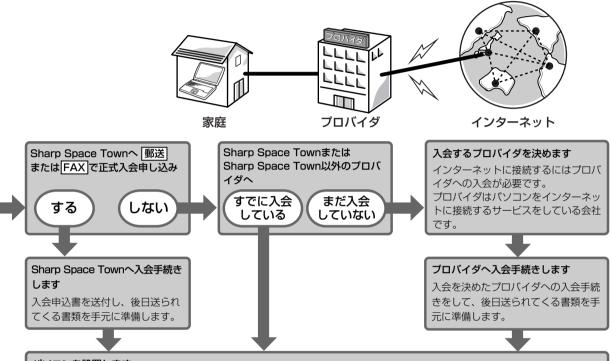
家庭用一般電話回線（アナログ回線）に接続します

家庭用一般電話回線に接続する（☞27ページ）を参照して、電話回線を接続してください。「0」などの外線発信番号が必要な場合は、**使用する電話回線の情報を登録する**（☞30ページ）を参照してください。

Sharp Space Townへ オンライン で入会申し込みします

Sharp Space Townへオンラインで入会申し込みするためには「**入門ガイド～インターネット&メール～**」（別冊）を参照してください。

Sharp Space Town（シャープスペースタウン）とは ....

「Sharp Space Town」は、シャープが運営しているインターネット接続プロバイダです。国内最大級のバックボーンネットワークをはじめ、さまざまなサービスを提供しています。

パソコンを設置します

電話回線やコンセントの位置を確認して、パソコンを置く最適な場所を決めて、パソコンを設置します。**パソコンを設置する**（☞26ページ）を参照してください。

お使いの電話回線に接続します

- 家庭用一般電話回線（アナログ回線）.......... **家庭用一般電話回線に接続する**（☞27ページ）を参照してください。
- 「0」などの外線発信番号が必要 .... **使用する電話回線の情報を登録する**（☞30ページ）を参照してください。
- ISDN回線など（デジタル回線）.................. **デジタル回線に接続する**（☞29ページ）を参照してください。
- 携帯電話 .... **携帯電話でインターネットに接続する**（☞35ページ）を参照してください。

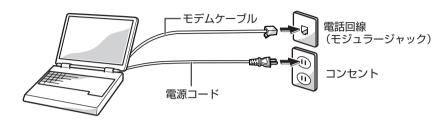
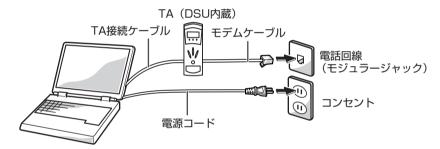
パソコンを設定します

インターネット接続のための設定をします。プロバイダに入会すると、あなたのユーザIDやパスワードが連絡されてきますので、それらを設定します。設定方法については、各プロバイダの説明書を参照してください。

インターネットに接続する準備が整いました。インターネットに接続してホームページを見たり、電子メールを送受信するためには「入門ガイド～インターネット&メール～」（別冊）を参照してください。

パソコンを設置する

電話回線に接続する前にパソコンを設置する場所を決めましょう。「設置するときのお願い」（☞6 ページ）をよくお読みになり、付属のモデムケーブルや電源コードの長さを考えて、最適な場所にパソコンを置いてください。

家庭用一般電話回線（アナログ回線）の場合

デジタル回線の場合

ご参考

設置する場所により、付属のモデムケーブルが短い場合は、市販の電話線（モデムケーブル）をお買い求めください。

モデム

パソコンのデータ（デジタル信号）を、一般の電話回線で送ることのできる音（アナログ信号）に変換する装置です。受信するときは逆に、アナログ信号をデジタル信号に変換します。

DSU（Digital Service Unit ／回線接続装置）

ISDN回線などのデジタル回線を利用するためには、DSUと呼ばれる装置に接続する必要があります。この DSU にターミナルアダプタ（TA）などのデジタル対応の通信装置を接続することで、デジタル回線が利用できます。最近の TA にはこの DSU が内蔵されているものが多くあります。

電話回線でインターネットに接続する

電話回線には家庭用一般電話回線（アナログ回線）とISDNなどのデジタル回線があります。それぞれの接続方法は異なりますので、手順に従って接続してください。

家庭用一般電話回線に接続する

パソコンを家庭用一般電話回線に接続するには、付属のモデムケーブルを使って、パソコンのモデムジャックと壁のモジュラージャックを接続します。

ご注意

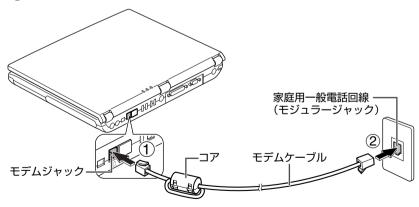
内蔵モデムは家庭用一般電話回線（アナログ回線）専用です。以下のようなデジタル回線には接続しないでください。故障の原因となります。

- ISDN のデジタル回線
  （TA（ターミナルアダプタ）を経由すると接続できます。）
- 構内交換機（PBX）のデジタル回線
- 公衆電話のデジタル（ISDN）回線

1 パソコンの電源を切ります。

2 パソコンを家庭用一般電話回線に接続します。

① 付属のモデムケーブルのコアのある方のコネクタを、パソコンのモデムジャックに差し込みます。

② もう一方のコネクタを、電話回線のモジュラージャックに差し込みます。

ご注意 **LAN ジャックに差し込まないでください**

形状が似ているので、よく確かめてから差し込んでください。誤ってLAN ジャックに差し込むと、故障の原因になります。

3 パソコンの電源を入れます。

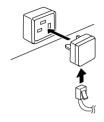
ご参考

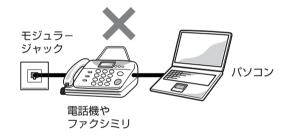
- **モジュラータイプ以外の電話回線で使うには**

3 ピンや 4 ピンの場合には

3ピンや4ピンのジャック形のときは、市販の変換アダプタを取り付けてください。

ローゼットタイプの場合は

差し込み式になっていないときは、最寄りのNTTに連絡して、モジュラージャックの取り付け工事を依頼してください。電話工事資格を持たない人が工事を行うことは認められていません。

- **直接、パソコンとモジュラージャックを接続してください**

電話やファクシミリを経由して接続すると、正しく通信できないことがあります。

内蔵モデムを使用するときの準備

内蔵モデムを使用するためには、次の準備が必要です。

- 使用する電話回線の情報を登録する。（☞30 ページ）
- インターネットの接続設定や通信ソフトウェアの設定でモデムやCOMポートの選択が必要な場合は、以下のように設定する。

  モデム名　：HSP56 MR

  COM ポート　：COM3

- 通信中に不意に回線が切断されるのを避けるために、次の設定を変更する。
  「電源の管理のプロパティ」画面で「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（**消費電力を節約する** ☞76 ページ）

内蔵モデムを海外で使用しないでください

内蔵モデムは、日本国内での使用を目的に設計されています。
国によって電話回線の仕様が異なるため、海外の電話回線に接続すると誤動作や故障の原因になります。

内蔵モデムについて

- 内蔵モデムは、「V.90」および「K56flex」方式を採用しています。
- 最大通信速度は受信時と送信時で異なります。
  受信時：56,000bps（理論値）
  送信時：33,600bps
  （bps=bit per second；ビット／秒）
  接続先（プロバイダなど）が「V.90」および「K56flex」に対応していない場合、最大通信速度は送受信とも33,600bpsになります。
  また、電話回線および接続先（プロバイダなど）の状況によっては、通信速度が遅くなることがあります。
- 内蔵モデムはソフトウェアモデムを採用していますので、使用状態によってはPCカードモデムや外付けモデムに比べて通信速度が遅くなることがあります。
- 内蔵モデムの機器名と認証番号については、仕様一覧（別紙）を参照してください。
- 内蔵モデムの交換修理については、修理窓口にご依頼ください。（お客様サポートシステムのご案内 ☞ 別冊）

デジタル回線に接続する

パソコンをデジタル回線（NTTなどのISDN回線）に接続するには、TA（ターミナルアダプタ）と呼ばれる機器が別途必要です。TAとの接続方法や設定方法についてはTAの説明書を参照してください。

使用する電話回線の情報を登録する

内蔵モデムを使用するには、電話回線の設定が必要です。設置した場所の電話回線の情報を登録しましょう。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。**

「ダイヤルのプロパティ」画面が表示されます。

「テレフォニー」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **登録名、国名／地域、市外局番、ダイヤル方法などを設定します。**

登録名

「会社」「自宅」など、わかりやすい名前を付けると便利です。

国名／地域

「日本」を選択します。

市外局番

使用する場所の市外局番を半角で入力します。

外線発信番号

会社などの電話回線で、「0」などの外線発信番号が必要なときに半角で入力します。

外線発信番号に続けて「,」(カンマ)を入力しておくと、外線に切り替わる間、次の番号をダイヤルせずに待つことができます。「,」(カンマ)の数を増やすと待ち時間が長くなります。

外線発信番号が必要な電話回線に接続するときは、モデムの設定も変更してください。(**外線発信番号が必要な電話回線に接続するときは** ☞ 次ページ)

ダイヤル方法

使用する電話回線に合わせて、「トーン」または「パルス」を選びます。お使いの電話機（親機）で、ダイヤル中に聞こえる音を確認してください。
トーン式：「ピッポッパ」と聞こえるとき
パルス式：「ジジジ」または「タタタ」と聞こえるとき
ダイヤル方法がわからない場合は、ご契約の電話会社(NTTなど)にお問い合わせください。

3 ［OK］をクリックして画面を閉じます。

電話回線の情報が登録されます。

4 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

外線発信番号が必要な電話回線に接続するときは

内蔵モデムを使って、「0」などの外線発信番号が必要な電話回線を利用するときは、「ダイヤルのプロパティ」画面(☞前ページ)で外線発信番号を入力した後、次のように設定してください。

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「モデム」アイコンをダブルクリックします。

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。
「モデム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 「HSP56 MR」が選択されていることを確認し、［プロパティ］をクリックします。

3 「接続」タブをクリックし、[詳細設定] をクリックします。

4 「追加設定」欄に「ATX3」と入力し、[OK] をクリックします。

5 [OK] をクリックして「モデムのプロパティ」画面に戻ります。

6 [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

7 画面右上の をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

ご参考

上記の設定をしても、インターネットに接続できない場合は、外線直通の電話回線に接続してください。

複数の電話回線を使い分ける

複数の電話回線を利用するときは、それぞれの電話回線にあった情報を登録する必要があります。たとえば、会社ではトーン式、自宅ではパルス式の電話回線を使うときなどは、それぞれの情報を登録し、接続する前に切り替えて使用します。

使用する電話回線を追加する

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。**

「ダイヤルのプロパティ」画面が表示されます。

「テレフォニー」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **[新規] をクリックします。**

3 **「新しい場所が作成されました」と表示されたら、[OK] をクリックします。**

4 **「登録名」欄に登録名を入力します。**

「会社」「自宅」など、わかりやすい名前を付けると便利です。

5 **国名／地域、市外局番、外線発信番号、ダイヤル方法などを設定します。**
(☞30 ページ)

6 **[OK] をクリックして画面を閉じます。**

7 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

使用する電話回線を切り替える

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。**

「ダイヤルのプロパティ」画面が表示されます。

「テレフォニー」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「登録名」の ▼ をクリックし、利用する電話回線に合った登録名を選びます。**

3 **[OK] をクリックして画面を閉じます。**

4 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

携帯電話でインターネットに接続する

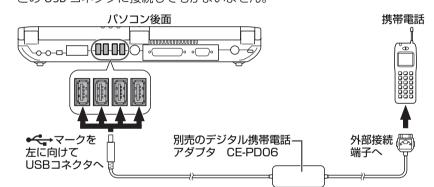
別売のデジタル携帯電話アダプタ（CE-PD06）を使うと、携帯電話を使ってインターネットに接続することができます。

携帯電話でインターネットに接続するときは

通信中に不意に回線が切断されるのを避けるために、次の設定を変更する。
「電源の管理のプロパティ」画面で「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（**消費電力を節約する** ☞76 ページ）

1 **携帯電話の電源を切ります。**

2 **パソコンと携帯電話をデジタル携帯電話アダプタで接続します。**

どの USB コネクタに接続してもかまいません。

3 **携帯電話の電源を入れます。**

ご参考

- デジタル携帯電話アダプタ（CE-PD06）は、9600bps データ通信に対応したデジタル携帯電話専用です。cdmaOne/PHS（簡易型携帯電話）およびアナログ携帯電話は使用できません。
- デジタル携帯電話アダプタと携帯電話との接続方法／取り外し方法および注意事項などについては、携帯電話およびデジタル携帯電話アダプタの説明書を参照してください。
- 接続できるデジタル携帯電話の機種については、下記のメビウスのホームページを参照してください。
  http://www.sharp.co.jp/mebius/products.html

デジタル携帯電話アダプタのドライバソフトをインストールする

初めてデジタル携帯電話アダプタを接続したときは、「新しいハードウェアの追加」ウィザードが表示されます。デジタル携帯電話アダプタの説明書を参照して、SHARP MultiMobile2 ドライバをインストールしてください。

インターネットの接続設定をする

携帯電話を使ってインターネットに接続するときは、改めて携帯電話用の接続設定をする必要があります。

ここでは、すでにプロバイダと契約している場合を例に説明します。お手元にプロバイダ発行の会員情報(ユーザー名[ID]、パスワード、メールアドレスなど)を用意してください。

1 スタートメニューから「プログラム」ー「アクセサリ」ー「通信」ー「インターネット接続ウィザード」をクリックします。

2 「インターネット接続を手動で設定するか、ローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、[次へ] をクリックします。

3 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、[次へ] をクリックします。

4 使用するモデムに「SHARP MultiMobile2」を選択し、[次へ] をクリックします。

5 「国番号と市外局番を使用してダイヤルする」をクリックしてチェックマークを外します。

6 **アクセスポイントの電話番号を市外局番から半角で入力し、[次へ]をクリックします。**

NTT ドコモのドッチーモを使って PHS モードで接続する場合

- PIAFS対応のアクセスポイントの電話番号を入力し、末尾に以下の文字を入力してください。
  - ・64kbps で接続する場合：##16
  - ・32kbps で接続する場合：##13
- DNSサーバを設定する必要がある場合は、[詳細設定]をクリックします。詳しくは、プロバイダの説明書を参照してください。

7 **インターネットに接続するときのユーザー名とパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。**

8 **ダイヤルアップ接続名を入力し、[次へ] をクリックします。**

ここまで設定した内容(使用するモデム、電話番号、インターネットのアカウントに関する情報など)は、すべてダイヤルアップ接続として保存されます。接続名には、「携帯電話用」などわかりやすい名前をつけてください。

9 **メールアカウントの設定をする場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選択し、[次へ] をクリックします。**

10 **手順9で「はい」を選択した場合、画面の指示に従って必要な設定をします。**

詳しくは、各プロバイダの説明書を参照してください。

手順9で「いいえ」を選択した場合、[完了] をクリックして、インターネット接続ウィザードを終了します。

インターネットに接続するには

インターネット接続ウィザード（☞前ページの手順**10**）で、［完了］をクリックすると「接続」画面が表示されます。

欄に登録した接続名（☞前ページの手順**8**）が表示されていることを確認して［接続］をクリックします。

カード型 PHS でインターネットに接続する

市販の PC カード型 PHS、またはコンパクトフラッシュ（CF）カード型 PHS を使うと、外出先などからインターネットに接続することができます。

PCカード型PHS

コンパクトフラッシュカード型PHS

ご参考

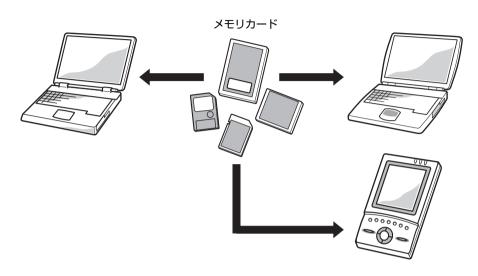
- カード型PHSとの接続方法については、**PCカードを使う**（☞123ページ）を参照してください。
- カード型PHSの使い方などについては、カード型PHSの説明書を参照してください。
- コンパクトフラッシュカード型PHSを使うには、専用のコンパクトフラッシュカード用 PC カード型アダプタが必要です。

データ転送

データをやりとりしよう

このパソコンで作ったデータを、もう一台のパソコンに移したい。自分のパソコンを、会社のネットワークにつないで活用したい。デジタルカメラで撮った画像を、パソコンに取り込みたい……この章では、そんなとき必要なデータのやりとりの方法を紹介します。

メモリカードでデータをやりとりする

デジタルカメラで撮影した画像を取り込んだり、他のパソコンやザウルス(MI-E1)とデータをやりとりするためには、メモリカードを使用すると便利です。

メモリカードには、以下のような種類があります。

PC カード型メモリカード

フラッシュメモリが内蔵されたカードです。フラッシュメモリとはROMと呼ばれる読み出し用メモリの一種で、電気的にデータの消去や書き込みができます。電源が供給されていなくても記録が消されることがないので、PC カード型メモリカードにデータを書き込めば、他のパソコンなどとデータをやりとりできます。

コンパクトフラッシュカード

PC カード型メモリカードと同じく、フラッシュメモリが内蔵されたカードです。コンパクトフラッシュカードにデータを書き込めば、他のパソコンなどとデータをやりとりできます。

SD メモリカード

米国 Siemens 社と米国 SanDisk 社が共同開発したメモリカードです。「SDMI規格」という著作権保護機能が付いています。

スマートメディア 	(株)東芝が開発し、富士写真フイルム(株)など5社が提唱するメモリカードです。スマートメディアはコンパクトフラッシュカードと並んで、デジタルカメラなどで使用されるメモリカードのひとつです。

このパソコンでメモリカードを使用するには

- PC カード型メモリカード
  PC カードスロットに差し込みます。(☞124 ページ)
- コンパクトフラッシュカード
  市販のコンパクトフラッシュカード用 PC カード型アダプタにセットして、PC カードスロットに差し込みます。(☞124 ページ)
- SD メモリカード　市販のSDカード用PCカード型アダプタにセットして、PCカードスロットに差し込みます。(☞124 ページ)
- スマートメディア　市販のスマートメディア用 PC カード型アダプタにセットして、PCカードスロットに差し込みます。(☞124ページ)

メモリカードは、デスクトップの「マイコンピュータ」の中に、ドライブとして表示されます。

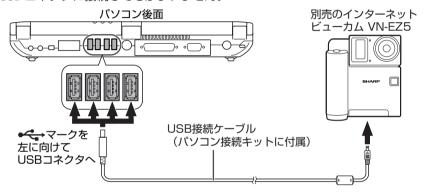
ご参考

ザウルスとやりとりできるデータの種類については、ザウルスの説明書を参照してください。

デジタルカメラの画像を取り込む

別売のインターネットビューカムやUSB接続カメラから、画像データを取り込むことができます。またデジタルカメラで撮影してコンパクトフラッシュカードなどに保存された画像データをパソコンに取り込むこともできます。

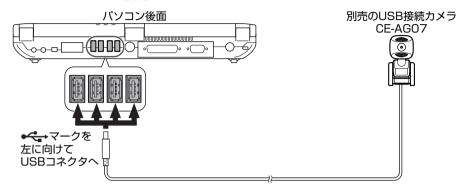
インターネットビューカムの画像を取り込む

別売のインターネットビューカム(VN-EZ5)で撮影した画像データをパソコンに取り込むときは、別売のパソコン接続キット(VR-PKEZ5W)を使用して、インターネットビューカムをUSBコネクタに接続します。
どのUSBコネクタに接続してもかまいません。

画像データの取り込みや再生には、パソコン接続キットに付属のピクスラボブラウザを使用してください。詳しくは、パソコン接続キットの説明書を参照してください。

ご参考

パソコン接続キットに付属されているピクスラボブラウザ以外のソフトの動作環境については、下記のインターネットビューカムプラザホームページを参照してください。
http://inet-viewcam.sharp.co.jp/

USB 接続カメラで画像を取り込む

USB コネクタと別売の USB 接続カメラ（CE-AG07）を接続すると、静止画や動画が取り込めます。
どの USB コネクタに接続してもかまいません。

静止画や動画を取り込むには、付属のカメラビューア（USBカメラ用画像キャプチャソフト）を使います。画像の取り込みの操作については、カメラビューアのヘルプを参照してください。

カメラビューアを起動するには
スタートメニューから「プログラム」ー「Sharp Applications」ー「カメラビューア」をクリックします。

デジタルカメラの画像を取り込む

スマートメディアやコンパクトフラッシュカードなどの記録媒体に保存されたデータをパソコンに取り込むときは、メモリカードでデータをやりとりする（☞42 ページ）を参照してください。

デジタルビデオカメラの映像を取り込む
（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ）

このパソコンに搭載されているIEEE1394コネクタ（DVコネクタ）を使えば、デジタルビデオカメラから映像を取り込むことができます。
また、MegaVi DigitalVideo（デジタルビデオ編集ソフト）を使えば、取り込んだ映像を簡単にデジタル編集できます。

接続可能なデジタルビデオカメラについて
市販されているすべてのデジタルビデオカメラと接続できるわけではありません。接続可能なデジタルビデオカメラについては、下記のメビウスのホームページを参照してください。
http://support.sharp.co.jp/mebius/index.asp

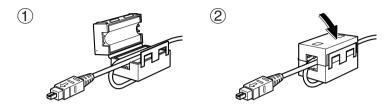
取り込み／書き出しに失敗しないために
取り込み／書き出しが途中で不意に止まったりすることを避けるために、取り込み／書き出しの操作をする前に、次の準備をしてください。
- ACアダプタを接続する。
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（消費電力を節約する ☞76ページ）
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。

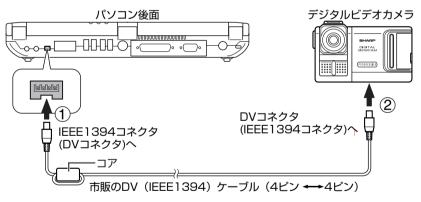
取り込み／書き出し中は、操作ボタンやキーを押さないでください。

デジタルビデオカメラの映像を取り込む

1 テープを再生できるモードで、デジタルビデオカメラの電源を入れます。
デジタルビデオカメラには、あらかじめ撮影済みのテープを入れておいてください。

2 **DV（IEEE1394）ケーブルの一方のコネクタにできるだけ近い位置に付属のコアを付けます。**

DV ケーブルは、市販の 4 ピン←→ 4 ピンのものをお使いください。
（コアは、パソコンから電波がもれるのを防ぐための部品です。）
①コアに DV ケーブルを巻き付けます。
②「カチッ」と音がするように閉じます。

3 **パソコンとデジタルビデオカメラを接続します。**

①DVケーブルのコアのある方のコネクタを、パソコンのIEEE31394コネクタに差し込みます。
②もう一方のコネクタを、デジタルビデオカメラのDVコネクタに差し込みます。

4 **スタートメニューから「プログラム」ー「JUSTSYSTEM　アプリケーション」ー「MegaVi DV」をクリックします。**

MegaVi DigitalVideo が起動します。

ご参考

- 初回起動時のみ使用許諾契約書が表示されます。契約書の内容を読み、［はい］をクリックすると、User IDの入力画面が表示されます。
- User ID の入力画面が表示されたら、［閉じる］をクリックしてください。インターネットに接続できる状態になっている方は、［オンラインユーザ登録］をクリックすると登録できます。

5 MegaVi DigitalVideo を使って映像を取り込みます。

映像の取り込み方法について詳しくは、MegaVi DigitalVideo のオンラインマニュアルおよびヘルプを参照してください。

6 映像の取り込みが終わったら、MegaVi DigitalVideo の をクリックして PC モードに戻します。

ご注意

デジタルビデオカメラの電源を切ったり、ケーブルを抜く前には、必ずPC モードにしてください。DV モードのままだと、正常に動作しなくなります。

7 デジタルビデオカメラの電源を切り、DV ケーブルを取り外します。

映像の編集や書き出しの方法については、MegaVi DigitalVideo のオンラインマニュアルおよびヘルプを参照してください。

ネットワークに接続する（LAN）

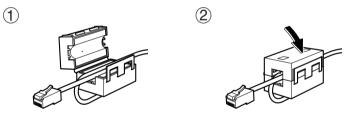
パソコンを会社などのネットワークに接続するには、ケーブルで接続する方法とワイヤレスで接続する方法があります。

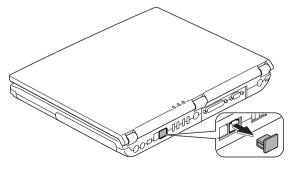
LAN ケーブルでネットワークに接続する

市販の LAN ケーブルを使ってパソコンの LAN ジャックとハブを接続します。
10BASE-T の LAN に接続する場合　：カテゴリ 3 以上のケーブル
100BASE-TX の LAN に接続する場合：カテゴリ 5 のケーブル

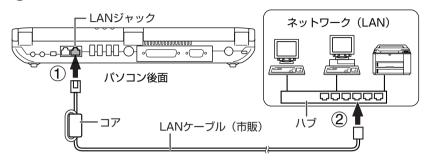
1 **パソコンの電源を切ります。**

2 **LANケーブルの一方のコネクタにできるだけ近い位置に付属のコアを付けます。**

（コアは、パソコンから電波がもれるのを防ぐための部品です。）
① コアに LAN ケーブルを巻き付けます。
②「カチッ」と音がするように閉じます。

3 **LAN ジャックのキャップを取り外します。**

キャップはなくさないように大切に保管しておいてください。また使い終わったら必ずキャップを取り付けてください。

4 パソコンをハブに接続します。

①LAN ケーブルのコアのある方のコネクタを、パソコンの LAN ジャックに差し込みます。

② もう一方のコネクタを、ハブに差し込みます。

5 パソコンの電源を入れます。

6 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

「ネットワーク」画面が表示されます。

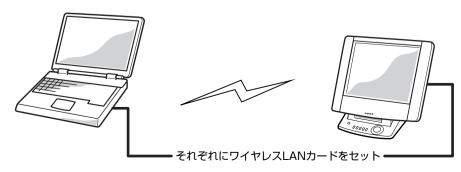
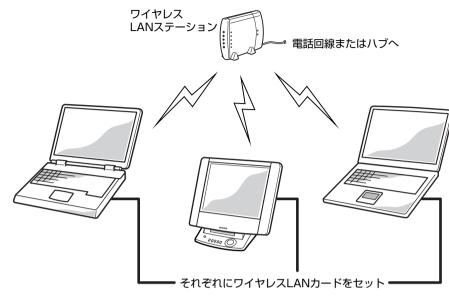
「ネットワーク」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

7 使用するネットワークに合わせて設定をします。

設定内容については、ネットワーク管理者に確認してください。

ワイヤレスでネットワークに接続する

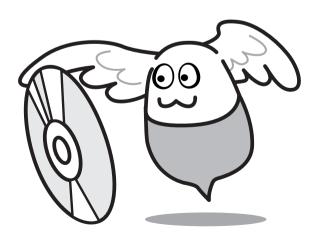
別売のワイヤレス LAN カード（CE-WC01）やワイヤレス LAN ステーション（CE-WA01）を使うと、次のような使い方ができます。

2 台以上のパソコンでデータのやり取りをする

2 台以上のパソコンで同時にインターネット接続する

ご参考

ワイヤレスLANカードやワイヤレスLANステーションの使い方については、それぞれの説明書を参照してください。

AV

音楽やDVDビデオを楽しもう

このパソコンでは、専用のプレーヤと同じ感覚で音楽を聴いたり、DVD ビデオを見ることができます。
この章では、外部スピーカに接続したり、オーディオ機器に接続したりする方法についても、説明しています。

AV 音楽を聴く

このパソコンで、音楽 CD を聴くことができます。

再生できるディスク

下記のマークのあるディスクをお使いください。

音楽 CD を再生する

1 音楽 CD をドライブにセットします。（ディスクをセットする ☞92 ページ）

①イジェクトボタンを押します。

②トレイを止まるまでゆっくり引き出します。

③ラベル面（文字が印刷されている面）を上にして、音楽CDをトレイにセットします。

ディスクの中央を「カチッ」と音がするまで押してセットしてください。

④「カチッ」と音がするまでトレイを押し込みます。

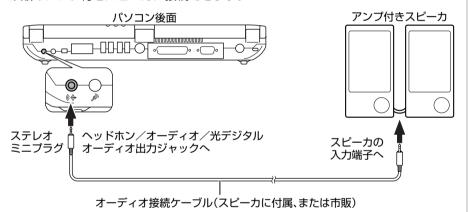
ディスクが認識されると（10 秒以上かかります）、Windows Media Player（ホームページ動画・音楽再生ソフト）が起動し、再生が始まります。

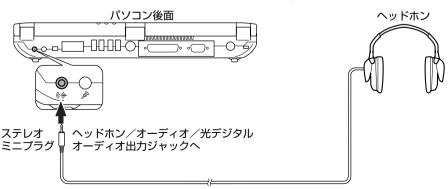
ご参考

- Windows Media Playerの操作については、Windows Media Playerのヘルプを参照してください。
- 音量の調節は、Windows Media Player で調節する方法のほかに、キーボード操作やWindowsで調節する方法があります。詳しくは、**音量を調節する**（☞103 ページ）を参照してください。

2 **再生が終了したら、画面右上の ☒ をクリックしてWindows Media Playerを閉じます。**

外部スピーカに接続する

市販のアンプ付きスピーカに接続できます。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンは、インピーダンス 8 Ω以上（32 Ωを推奨）のものをお使いください。

DVDビデオを見る（CD-R/RW & DVD-ROMドライブ搭載モデルのみ）

パソコンのディスプレイでDVDビデオをお楽しみいただけます。

再生できるディスク

「DVD VIDEO」と表示されているディスクをお使いください。

DVDビデオを再生するときの準備

再生の途中で不意に止まったりすることを避けるために、再生する前に、次の準備をしてください。

- ACアダプタを接続する。
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（消費電力を節約する☞76ページ）
- ディスプレイの色数は、「High Color（16ビット）」または「True Color（32ビット）」に設定する。（ディスプレイの解像度や色を変える☞89ページ）
  （ご購入時は、「High Color（16ビット）」に設定されています。）
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。

DVDビデオを再生する

1 **DVDビデオディスクをドライブにセットします。（ディスクをセットする☞92ページ）**

①イジェクトボタンを押します。

②トレイを止まるまでゆっくり引き出します。

③ラベル面（文字が印刷されている面）を上にして、DVDビデオディスクをトレイにセットします。
ディスクの中央を「カチッ」と音がするまで押してセットしてください。

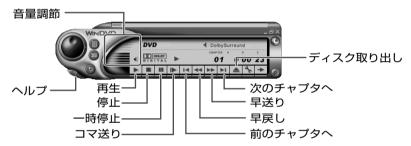
④「カチッ」と音がするまでトレイを押し込みます。

ディスクが認識されると（10秒以上かかります）、WinDVD（DVDプレーヤーソフト）が起動し、確認画面が表示されます。

ご参考

両面が再生できるDVDの場合は、再生面の表記（Side Aなど）がある面を上にしてセットしてください。

2 ［OK］をクリックします。

自動的に再生が始まります。

ご参考

- WinDVDの操作については、画面の をクリックして、ヘルプを参照してください。
- 音量の調節は、WinDVDで調節する方法のほかに、キーボード操作やWindowsで調節する方法があります。詳しくは、**音量を調節する**（☞103ページ）を参照してください。
- WinDVD実行中に、表示先を切り替えたり、解像度や色数など画面表示に関する設定を変更しないでください。画像が乱れることがあります。

3 再生が終了したら、画面右上の ☒ をクリックしてWinDVDを閉じます。

「WinDVD」をお使いのお客様へ

このパソコンは、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

登録特許番号
Apparatus Claims of U.S. Patent Nos. 4,631,603, 4,577,216, 4,819,098, and 4,907,093 licensed for limited viewing uses only.

DVD のリージョン番号について

DVDビデオディスクには、リージョン番号（再生可能地域番号：2 ALL など）が設定されています。ご購入時の状態で再生が可能なのは、リージョン番号が「2」と「ALL」のディスクです。リージョン番号はDVDビデオディスクに表示されています。国内で制作・販売されているDVDビデオディスクを再生するときは、通常は設定を変更する必要はありませんが、変更できるのは4回までです。変更を必要とする場合は、WinDVD のヘルプを参照してください。

DVD のパレンタルロック（視聴制限）レベル変更パスワードについて

パレンタルロックとは、一般向けあるいは成人向けなどの制限のことです。
パレンタルロックレベルを変更するパスワードを忘れると、パレンタルロックレベルを変更できません。設定したパスワードは、忘れないように注意してください。

外部スピーカに接続する

外部スピーカを接続するときは、外部スピーカに接続する（☞55ページ）を参照してください。

ドルビーデジタルサウンド（5.1 チャンネル）を楽しむ

市販の光デジタルケーブルを使って、パソコンとドルビーデジタルサウンド方式に対応した機器（AV アンプやスピーカーなど）を接続すると、映画館のような臨場感あふれる音で DVD ビデオをお楽しみいただけます。接続方法は、光デジタルオーディオ入力端子付きのオーディオ機器に接続する（☞65 ページ）を参照してください。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンで聴くときは、ヘッドホンで聴く（☞55ページ）を参照してください。

「ドルビーヘッドフォン機能」について

付属のWinDVDはドルビーヘッドフォン機能を搭載しています。ドルビーヘッドフォン機能を使うと、ドルビーデジタル5.1チャンネルの立体音響を、お使いのヘッドホンで体感できるようになります。ドルビーヘッドフォン機能の使い方について詳しくは、WinDVD のヘルプを参照してください。

テレビで DVD ビデオを見る

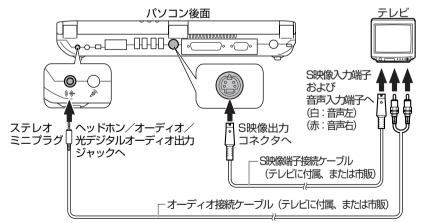
テレビに付属または市販のS映像端子接続ケーブルとオーディオ接続ケーブルを使ってパソコンとテレビを接続し、テレビのワイドな画面でDVDビデオをお楽しみいただけます。

テレビを接続するときの準備

CRTディスプレイや液晶ディスプレイを接続している場合は、テレビをパソコンに接続する前に、それらのディスプレイを取り外しておいてください。

テレビを接続する

1 パソコンとテレビの電源を切ります。

2 パソコンとテレビを接続します。

ご参考

パソコンとテレビは直接接続してください。ビデオデッキなどを通して接続すると、画像が乱れることがあります。

3 パソコンとテレビの電源を入れます。

4 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

5 「設定」タブをクリックし、[詳細] をクリックします。

6 「S3Display」タブをクリックし、「TV」をクリックしてチェックマークを付けます。

7 [OK] をクリックします。

8 確認画面で [OK] をクリックします。

テレビにパソコンの画面が表示されます。
このとき、解像度は 640 × 480 に自動的に変更されます。

ご参考

テレビに表示するときは、解像度を640×480にしてください。それ以外の解像度に設定できますが、正常に表示されません。

9 確認画面で［はい］をクリックします。

10 ［OK］をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。

11 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

テレビを取り外す

1 パソコンとテレビの電源を切ります。

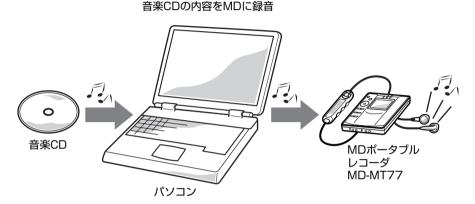
2 パソコンからS映像端子接続ケーブルおよびオーディオ接続ケーブルを取り外します。

ご参考

テレビを取り外しても、解像度は640×480のままです。ディスプレイの解像度や色を変える（☞89ページ）を参照して、元の解像度に戻してください。（ご購入時の解像度は、1024×768に設定されています。）

AV パソコンリンク機能付き MD に録音する

シャープ製のパソコンリンク機能付きMDポータブルレコーダに接続すると、パソコン側の操作だけで、音楽 CD の内容を MD にデジタル録音することができます。

対応機種	接続方法	必要な別売品
MD-MT77	USB 接続	MD- パソコン接続キット（AD-PCR2）

録音に失敗しないために

録音が途中で不意に止まったりすることを避けるために、録音する前に、次の準備をしてください。

- AC アダプタを接続する。
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（消費電力を節約する☞76ページ）
- 関係のないソフトや自動的に起動するアプリケーションソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。

ご注意

録音中は、操作ボタンやキーを押したり、ACアダプタの抜き差しをしないでください。音とびの原因になります。

ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、USB接続ケーブルを接続することができます。
- MD-パソコン接続キットに付属のソフトウェアは、インストールしないでください。インストールすると以下の手順どおりに動作しなくなります。
- MDポータブルレコーダの使い方については、MDポータブルレコーダの説明書を参照してください。

音楽 CD の全曲を MD に録音する

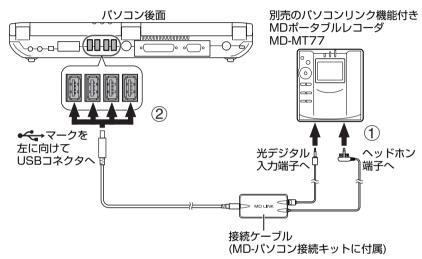
1 録音用 MD を MD ポータブルレコーダにセットします。

MDの誤消去防止タブが解除されていることを確認してセットしてください。

2 MD ポータブルレコーダの電源を切ります。

3 パソコンと MD ポータブルレコーダを接続します。

①MDポータブルレコーダとMD-パソコン接続キット（AD-PCR2）に付属のケーブルを接続します。

②パソコンの USB コネクタに MD- パソコン接続キットに付属の USB 接続ケーブルを接続します。どの USB コネクタに接続してもかまいません。

4 スタートメニューから「プログラム」ー「SHARP オリジナルプレーヤー」ー「PC → MD 録音」をクリックします。

Windows Media Player が起動します。

5 音楽 CD をドライブにセットします。

自動的に音楽の再生が始まります。

6 ◼ をクリックして再生を停止し、音量を最大にします。

画面右側の目盛りを上端までドラッグします。

7 タスクバーの をダブルクリックし、「スピーカー」画面で「**WAVE**」の音量つまみを上端までドラッグします。

8 ［**MD**］をクリックします。

MD-PC Link2（MD 簡単編集ソフト）が起動し、MD への録音が始まります。MD ポータブルレコーダの電源は自動的に入ります。

録音中は他のアプリケーションソフトを使用しないでください。音とびの原因となります。

9 録音が終了したら、画面右上の をクリックして**MD-PC Link2**、**Windows Media Player**、および「スピーカー」画面を閉じます。

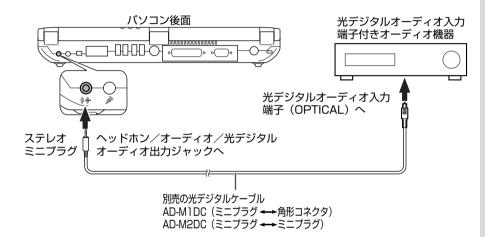
10 **MD** ポータブルレコーダの電源を切ります。

11 パソコンから **USB** 接続ケーブルを取り外します。

オーディオ機器に接続する

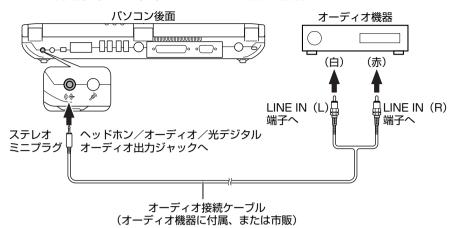
光デジタルオーディオ入力端子付きのオーディオ機器に接続すると、パソコンで再生した音をより鮮やかな音質で楽しめます。また、オーディオ機器にアナログ音声を出力することもできます。

光デジタルオーディオ入力端子付きのオーディオ機器に接続する

市販の光デジタルオーディオ入力端子付きアンプなどに接続できます。ケーブルは接続機器とコネクタ形状の合ったものをお使いください。
ヘッドホン／オーディオ／光デジタルオーディオ出力ジャックの出力サンプリング周波数は 48kHz です。

光デジタルケーブルを使って MD レコーダなどに音楽 CD の音声を録音するときは

- シンクロ機能に対応している機器を使用してください。シンクロ機能を使わないと正しく録音されません。
- 再生する音楽CDによっては、曲番が正しく付かないことがあります。そのときは、MD レコーダの編集機能を使って、録音後に曲番を付け直すことができます。

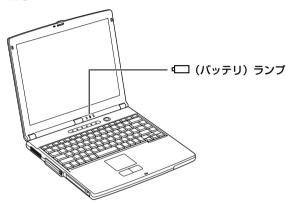
オーディオ機器にアナログ音声を出力する

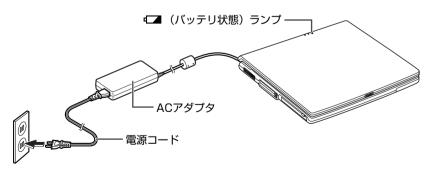
ライン入力端子（LINE IN）付きのオーディオ機器と接続します。

バッテリやキーボードの使い方、ディスプレイの調整、大切なデータをバックアップする方法など、この章ではパソコンの基本的な操作について説明しています。たくさんの機能がありますが、全部を通して読む必要はありません。必要な項目からお読みください。

バッテリを使いこなす

ACアダプタを接続していないときは、パソコンの電源は内蔵のバッテリパックから供給されます。バッテリパックを上手に使いこなすために、充電や残量確認の方法、バッテリ切れの警告などについて知っておきましょう。

バッテリで使用しているときは

ACアダプタを外して、バッテリで使用しているときは、 (バッテリ)ランプが点灯します。

バッテリパックを充電する

バッテリパックを充電するといっても、特別な操作は必要ありません。
AC アダプタを接続するだけで充電が始まり、満充電になると充電が止まります。

充電中の状態は

（バッテリ状態）ランプで確認できます。

オレンジ点灯	充電中
緑点灯	満充電

ご参考

- オレンジ色の点灯が消えたときは、バッテリパックの温度が上がり過ぎたため、充電が一時中止されています。温度が下がると充電が再開されます。また、 CPUがたくさんの処理をしているときも、充電が一時中止されるため、オレンジ色の点灯が消えます。
- ランプがオレンジ色に点滅（1秒間隔）しているときは、バッテリパックが正しく装着されていない可能性があります。パソコンの電源を切り、いったん、ACアダプタとバッテリパックを取り外し、バッテリパックを装着し直してから、再度ACアダプタを接続してみてください。それでも同じなら、バッテリパックまたはパソコンの充電回路の異常が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。

充電時間は

次のとおりです。（バッテリ残量が空の状態から満充電になるまで）

電源オフで充電したとき	約3時間
電源オンで充電したとき	約6時間

ご参考

長時間使用している場合など、バッテリパックの温度が高くなっているときや、パソコンの使用状況によっては、充電時間が長くなることがあります。

満充電時の使用時間は

仕様一覧（別紙）の「バッテリ駆動時間」を参照してください。

バッテリの残量を確かめる

バッテリの残量は画面で確認できます。

バッテリの残量を確認する

タスクバーの（　）の上に、マウスポインタを移動します。
バッテリの残量がパーセント表示されます。

（　）をダブルクリックして、「電源メーター」画面で確認することもできます。

ご参考

- バッテリの残量表示は概算によるものです。使用状況によって誤差が生じますので目安としてお使いください。
- バッテリの残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったときは、バッテリパックを初期化してください。（☞73 ページ）
- AC アダプタ接続時は、タスクバーには が表示されます。

タスクバーに（　）が表示されていないときは

次のように操作して、表示させてください。

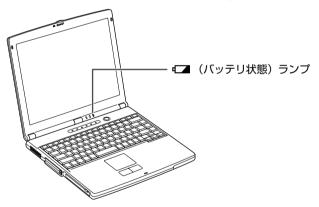
1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 「詳細設定」タブをクリックし、「アイコンをタスクバーに常に表示する」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

3 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

バッテリ切れを警告するタイミングや動作を設定する

警告音を鳴らすタイミングや、警告後の動作を設定します。（アラーム設定）

ご注意

バッテリ残量が約10% になると、アラーム設定の内容にかかわりなく、 ランプが赤く点滅し、警告音が鳴ります。すぐにデータを保存して電源を切るか、ACアダプタを接続してください。そのまま使い続け、バッテリ残量が完全になくなると、パソコンの電源が切れ、保存していないデータは失われてしまいます。警告音は、Fn ＋ F10 キーで止まります。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「アラーム」タブをクリックし、各項目のつまみをドラッグします。**

「バッテリ低下の警告」：　「バッテリ消耗の警告」より大きい値に設定してください。

「バッテリ消耗の警告」：　5%以上の値に設定してください。

3 **それぞれの項目の［警告の動作］をクリックします。**

「バッテリ残量低下の警告の動作」または「バッテリ消耗の警告の動作」画面が表示されます。

4 **「警告後のコンピュータの動作」をクリックしてチェックマークを付け、動作内容を設定し、［OK］をクリックします。**

5 **［OK］をクリックして画面を閉じます。**

6 **画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

バッテリパックを初期化する

バッテリパック（ニッケル水素電池）は、残量のあるうちに充電を繰り返すと、使用時間が短くなる性質があります。使用時間が短くなったとき、バッテリ残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったとき、および、新しいバッテリパックと交換したときは、以下の手順でバッテリパックを初期化してください。

1 **AC アダプタを接続して、パソコンの電源を入れます。**

2 **「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されている間に、F2 キーを押します。**
セットアップユーティリティ画面が表示されます。

3 **ACアダプタを外し、バッテリの残量が完全になくなって電源が切れるまで放置します。**
満充電からバッテリの残量が完全になくなるまでに約 1.5 時間かかります。

4 **AC アダプタを接続して、満充電になるまで充電します。**
約3時間かかります。満充電になると、[バッテリ] ランプが緑色に点灯します。

5 **パソコンの電源を入れて手順 2 ～ 4 を繰り返し、バッテリパックを放電し、満充電します。**

6 **パソコンを再起動します。**

ご参考
バッテリパックは消耗品です。充放電をくり返すうちにバッテリが劣化し、使用時間が短くなってきます（常温で約300回が目安です）。初期化しても極端に使用時間が短くなったときは、新しいバッテリパックと交換してください。

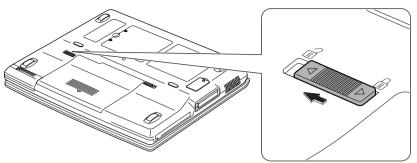
バッテリパックを交換する

長時間バッテリで使用するときなどは、予備のバッテリパックを準備して交換することもできます。

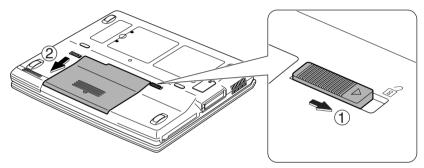
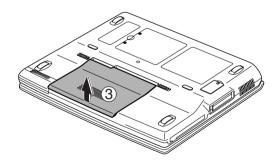
新しいバッテリパックをお求めのときは
パソコンをお買い上げの販売店でお買い求めください。（サービス部品扱い）

1 **パソコンの電源を切り、AC アダプタを外します。**

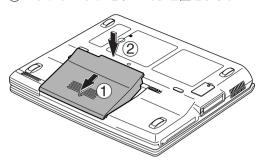
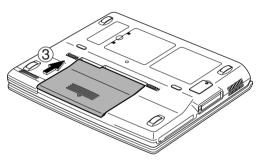
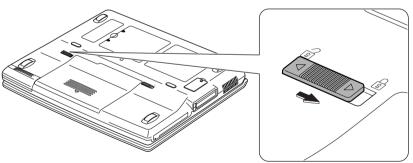
2 **ディスプレイを閉じて、パソコンを裏返します。**

3 左側のレバーを左へスライドして解除位置（ 🔓 ）にします。

4 バッテリパックを取り外します。

①右側のレバーを右へスライドします。

②レバーをスライドさせた状態で、バッテリパックを手前に引きます。

③ バッテリパックを持ち上げて取り外します。

5 新しいバッテリパックを取り付けます。

①下図のようにバッテリパックとパソコンを合わせます。

②バッテリパックをゆっくりと置きます。

③バッテリパックを「カチッ」と音がするまで押し込みます。

6 左側のレバーを右へスライドしてロック位置(🔒)にします。

消費電力を節約する

省電力機能は、コントロールパネルの「電源の管理」で設定することができます。
省電力機能は、ACアダプタで使用しているときと、バッテリで使用しているときのそれぞれについて設定できます。

操作しないときディスプレイやハードディスクの電源を切る

一定時間操作しない状態が続いたとき、ディスプレイまたはハードディスクへの電源供給を停止することができます。操作を再開すると、再び電源が供給されます。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**
「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。
「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「モニタの電源を切る」と「ハードディスクの電源を切る」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。**
「モニタの電源を切る」の設定は、省電力機能に対応した外部ディスプレイを接続しているとき、外部ディスプレイに対しても働きます。

3 **[OK] をクリックして画面を閉じます。**

4 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

操作しないときスタンバイまたは休止状態にする

一定時間操作しない状態が続いたとき、スタンバイまたは休止状態にすることができます。

スタンバイ	現在の状態をメモリに保存し、ほとんどの電源供給を停止します。スタンバイに移行すると、（電源）ランプまたは（バッテリ）ランプが緑点滅します。操作を再開すると、わずかな時間で元の状態に復帰します。
休止状態	現在の状態をハードディスクに保存し、電源を切ります。休止状態に移行すると、ランプまたはランプが消灯します。電源ボタンを押すと、元の状態に復帰します。

ご注意

スタンバイおよび休止状態へ移行または復帰する際には、誤動作やデータの損失を防ぐため、必ず次の事項を守ってください。

- 移行するときは、通信、印字、および動画や音楽の再生は、いったん終了してください。
- 移行または復帰中に、パソコンや周辺機器に触れたり、周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- スタンバイは現在の状態を一時記憶するだけです。スタンバイのまま放置してバッテリが切れると、データが消えてしまいます。
- バッテリで使用しているとき、バッテリの残量が一定水準以下になると、スタンバイまたは休止状態から復帰できないことがあります。その場合は、AC アダプタを接続してください。

スタンバイまたは休止状態になるまでの時間を設定する

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 「システムスタンバイ」と「システム休止状態」欄で、それぞれの状態に移行するまでの時間を設定します。

3 [OK] をクリックして画面を閉じます。

4 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

今すぐスタンバイまたは休止状態にする

席を外すときなどに、パソコンをスタンバイまたは休止状態にしておくことができます。

「Windows の終了」画面でスタンバイまたは休止状態にする

1 スタートメニューから「Windows の終了」をクリックし、「Windows の終了」画面で「スタンバイ」または「休止状態」を選択します。

2 [OK] をクリックします。

特定の操作でスタンバイまたは休止状態にする

「電源の管理のプロパティ」画面で設定すると、次の操作をしたときも、スタンバイまたは休止状態にすることができます。

- ディスプレイを閉じる。
- 電源ボタンを押す。
- Fn ＋ F12 キーを押す。

1 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「電源の管理」アイコンをダブルクリックします。**

「電源の管理のプロパティ」画面が表示されます。

「電源の管理」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

2 **「詳細設定」タブをクリックし、必要な項目を設定します。**

「ポータブルコンピュータを閉じたとき」：

ディスプレイを閉じたときの動作を、なし／スタンバイ／休止状態／電源オフから選択します。

「コンピュータの電源ボタンを押したとき」：

電源ボタンを押したときの動作を、スタンバイ／休止状態／電源オフから選択します。

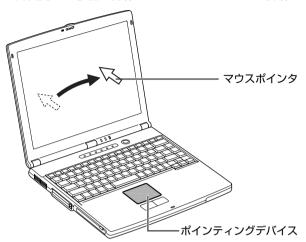
「コンピュータのスリープボタンを押したとき」：

Fn ＋ F12 キーを押したときの動作を、スタンバイ／休止状態／電源オフから選択します。

3 **[OK] をクリックします。**

4 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

基本 パッド型ポインティングデバイスを使う

Windows Me では、ポインティングデバイスによる画面操作で、ほとんどの操作が可能です。初めはマウスポインタ（ ）が思いどおりに動かないものですが、マウス（市販品）を使うより場所をとらず、外出先でも手軽に操作できますから、ゆっくり操作しながら慣れましょう。

パッド部とボタンで操作する

ポイントする

マウスポインタ（矢印マーク）を目的のアイコンやボタンの上に移動することです。

パッドに指を触れて、移動したい方向に動かします。
パッドの端で指を動かす場所がなくなったら、いったん指を上げて元の位置へ戻して、再度指を動かしてください。

- 必ず指で操作してください。先のとがったもの（シャープペンやボールペンの先）で操作すると、パッドを傷めてしまいます。
- 濡れた手や汗をかいた手で操作しないでください。マウスポインタが思わぬ方向に動いてしまうだけでなく、故障の原因にもなります。

クリックする

画面上のボタンを押したり、メニューを選ぶ操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、
左ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ダブルクリックする

ソフトウェアを起動したり、ファイルを開くときの操作です。

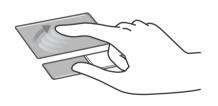
マウスポインタの位置を確かめて、
左ボタンを「カチッカチッ」と2回押します。

右クリックする

関連するメニューを表示するときなどに使う操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、
右ボタンを「カチッ」と 1 回押します。

ドラッグする

ファイルやフォルダを移動する操作です。

マウスポインタの位置を確かめて、親指で左ボタンを押したまま、人差し指をパッド上で動かします。
目的の位置まできたら、親指を左ボタンから離します（ドロップする)。
人差し指はそのあとゆっくり離してかまいません。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

パッド部だけで操作する

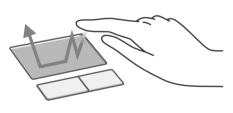
左ボタンのかわりにパッド部を「トン」と指でたたいて、クリックやダブルクリックをすることもできます。

クリックする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トン」と 1 回たたきます。

ダブルクリックする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トントン」と 2 回たたきます。

ドラッグする

マウスポインタの位置を確かめて、パッドを「トントン」と2回たたき、指をパッドにのせたまま動かします。
目的の位置まで動かしたら、指を離します（ドロップする）。
一連の動作をドラッグ＆ドロップと呼びます。

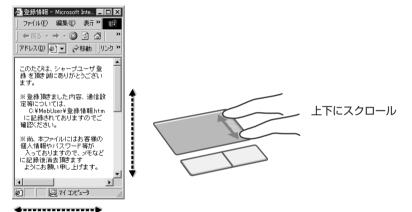
画面をスクロールする

パッド部で指を動かして、画面をスクロールすることができます。
画面のスクロールは、対応したアプリケーションソフトでのみ動作します。

上下にスクロールする

パッドの右端に指を触れて、前後に動かします。指を前に動かすと画面が上にスクロールされ、後ろに動かすと画面が下にスクロールされます。

左右にスクロールする

パッドの下部に指を触れて、左右に動かします。指を右に動かすと画面が右にスクロールされ、左に動かすと画面が左にスクロールされます。

その他の機能の確認や設定は

「マウスのプロパティ」画面を参照してください。画面を表示するには、タスクバーにある をダブルクリックします。機能については、ヘルプの内容を参照してください。

キーボードを使う

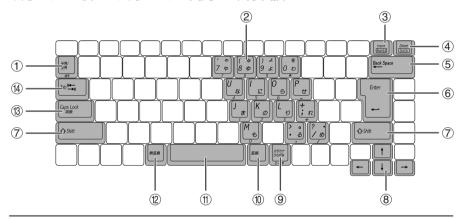
キーボードを使うと、文字を入力したり、特定の機能を働かせたりすることができます。ここでは、それぞれの役割に使うキーをまとめて紹介します。

ご参考

Windowsやアプリケーションソフトで割り当てられているその他の機能については、 下記のものを参照してください。

- スタートメニューの「ヘルプ」をクリックして表示されるヘルプ画面
- Microsoft IME（日本語入力システム）のヘルプ
- お使いのアプリケーションソフトの説明書、ヘルプ

文字を入力する

下記のキーを使って入力モードの変更や、文字変換をします。

① **半角 / 全角・漢字** キー

日本語入力システムのオン／オフを切り替えます。（ご購入時の設定）

② **数字キーブロック**

数字キーロックモード時、数字と演算記号（青色刻印）が入力できる状態になります。

③ **Insert**（インサート）キー

文字を入力するときに、挿入するか、上書きするかを切り替えます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。

NumLk （数字キーロック）キー

Fn キーを押しながら NumLk キーを押すと、 (Num Lock)ランプが点灯し、数字キーロックモードになります。このとき、数字キーブロックで、数字と演算記号(青色刻印)が入力できます。モードを解除するには、もう一度 Fn キーを押しながら NumLk キーを押します。

④ Delete （デリート）キー

カーソル位置の右側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑤ Back Space （バックスペース）キー

カーソル位置の左側の 1 文字、または選択した範囲の文字を消します。

⑥ ⏎ Enter（エンター）キー

日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を確定します。
文字確定後、および日本語入力システムがオフのときは、改行になります。

⑦ Shift （シフト）キー

Shift キーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている文字や記号、アルファベットの大文字が入力できます。

⑧ ↑ ↓ ← → （カーソル）キー

カーソルを上下左右に移動します。

⑨ カタカナ・ひらがな・ローマ字 キー

日本語入力システムがオンのときは、 Alt キーを押しながら カタカナ・ひらがな・ローマ字 キーを押すたびに、かな入力／ローマ字入力が切り替わります。また、 Shift キーを押しながら カタカナ･ひらがな･ローマ字 キーを押すと、カタカナモードになります。ひらがなモードに戻るには、 カタカナ･ひらがな･ローマ字 キーだけを押します。

⑩ 変換 キー

日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を変換します。
もう 1 度 変換 キーを押すと、他の候補リストを表示します。
スペースキーを押して変換することもできます。（ご購入時の設定）

⑪ **スペースキー**

スペース（空白）を入力します。

⑫ **無変換 キー**

日本語入力システムがオンのときに、入力した文字を、全角／半角のカタカナや数字に変換できます。

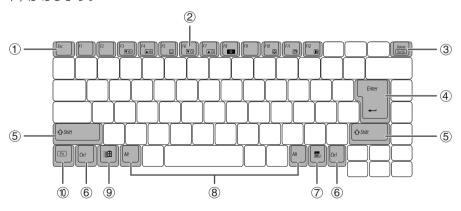
⑬ **Caps Lock・英数 キー**

Shift キーを押しながら Caps Lock・英数 キーを押すと、 (Caps Lock) ランプが点灯し、アルファベットの大文字が入力できる状態になります。モードを解除するには、もう一度 Shift キーを押しながら Caps Lock・英数 キーを押します。また、日本語入力システムがオンのときに Caps Lock・英数 キーを押すと、英数字モードになります。

⑭ **Tab（タブ）キー**

タブ位置まで入力位置が移動します。

特定の機能を働かせる

キーボードからパソコンを動作させるためには、特定の機能を割り当てたキーを押す方法と、Fn や Ctrl キーなどを押しながら他のキーを押す操作（ショートカット）があります。

① **Esc（エスケープ）キー**

現在の操作を取り消して、1 つ前の操作に戻るときなどに押します。

② **F1 ～ F12 （ファンクション 1 ～ 12）キー**
使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。

③ **Delete （デリート）キー**
選択したファイルやアイコンなどを削除します。

ScrLk （スクロールロック）キー
Fn キーを押しながら ScrLk キーを押すと、、 (Scroll Lock)ランプが点灯し、スクロールロックモードになります。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。モードを解除するには、もう一度 Fn キーを押しながら ScrLk キーを押します。

④ **（エンター）キー**
設定画面の破線で囲まれたボタンや、反転している項目を選択します。

⑤ **Shift （シフト）キー**
Shift キーを押しながら他のキーを押すと、キーの上段に刻印されている機能が働きます。

⑥ **Ctrl （コントロール）キー**
Ctrl キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。

⑦ **（アプリケーション）キー**
使用するソフトウェアによって、いろいろな機能が割り当てられます。通常は、右クリックと同じ働きをします。

⑧ **Alt （オルト）キー**
Alt キーを押しながら他のキーを押すと、いろいろな操作ができます。機能は、使用するソフトウェアによって異なります。Alt キーを押しながら緑色で刻印されたキーを押すと、その機能が働きます。

⑨ **（Windows）キー**
Windows Me の「スタート」メニューを表示します。

⑩ Fn （ファンクション）キー

Fn キーを押しながら枠囲みで刻印されているキーを押すと、枠囲みの機能が働きます。枠囲みでアイコンが刻印されているキーの機能は、次のとおりです。

Fn ＋ F3 （ ）：音量を下げます。

Fn ＋ F4 （ ）：音量を上げます。

Fn ＋ F5 （ ）：外部ディスプレイを使用しているとき、表示先を切り替えます。（テレビに切り替えることはできません。）

Fn ＋ F6 （ ）：内蔵ディスプレイを暗くします。

Fn ＋ F7 （ ）：内蔵ディスプレイを明るくします。

Fn ＋ F8 （ ）：内蔵ディスプレイの明るさを最大にします。もう一度押すと、元の明るさに戻ります。

Fn ＋ F10 （ ）：バッテリパックの残量がわずかになったときに鳴る警告音を止めます。（この警告音はパソコン自体の機能です。Windows Me で設定する短い警告音は止まりません。）

Fn ＋ F11 （ ）：内蔵ディスプレイのオン／オフを切り替えます。

Fn ＋ F12 （ ）：パソコンをスタンバイ、休止状態または電源オフにします。

ディスプレイの明るさ・解像度・壁紙を変える

ディスプレイが明るくて目が疲れると感じたときや、暗くて見づらいと感じたときは、明るさを調整してください。また、ディスプレイの解像度や壁紙を変えることもできます。

ディスプレイの明るさを変える

キーボード操作で、ディスプレイの明るさを変えることができます。

Fn ＋ F6（▼☼）	ディスプレイを暗くします。
Fn ＋ F7（▲☼）	ディスプレイを明るくします。
Fn ＋ F8（☼）	ディスプレイの明るさを最大にします。もう一度押すと、元の明るさに戻ります。

ディスプレイの解像度や色を変える

パソコンのディスプレイは、解像度や色数を変更することができます。
通常はご購入時の設定のままお使いください。

1 **スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 **「設定」タブをクリックし、「色」の ▼ をクリックして、メニューから色数を選びます。解像度を変えるときは、「画面の領域」のつまみをドラッグして動かします。**

3 **[OK] をクリックします。**
変更した項目(色または解像度)の確認メッセージが表示されます。両方を変更したときは、それぞれのメッセージが表示されます。
メッセージに従って操作してください。

4 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

設定可能な解像度と色数

解像度(ドット)	640 × 480、800 × 600、1024 × 768
色数	256 色、65536 色、1677 万色 ※

※　ディザリング機能により最大で 1677 万色を表示できます。

ご参考
- 「色」の設定と表示の色数は以下の通りです。
  High Color(16 ビット)　:65536 色
  True Color(32 ビット)　:1677 万色
- 「True Color」に設定した場合には、次のようになることがあります。
  ・画面の描画速度が少し遅くなる。
  ・動画を表示すると、画面が乱れる場合がある。

ディスプレイの壁紙を変える

このパソコンには、あらかじめいろいろな壁紙が用意されています。

1 **スタートメニューから「設定」-「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 リストから壁紙を選びます。

壁紙を選ぶと設定画面にサンプル画面が表示されます。

3 [OK] をクリックします。

「画面のプロパティ」画面が閉じ、選択した壁紙に設定されます。

4 画面右上の をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

ご購入時の状態に戻すには

上記の手順 **2** で「blackworld2_1024_768_16」を選んでください。

ご参考

- メビウス用の壁紙は、使用する場合のディスプレイの解像度と色数がわかるように名前がついています。

- 1677万色の壁紙を使用するときは、あらかじめディスプレイの色を「True Color（32 ビット）」に設定してください。1677 万色の壁紙を使用しているときは、アプリケーションソフトによっては起動できないことがあります。その場合は、壁紙を256色（8ビット）または 65536 色（16 ビット）のものに変更してください。

CD・DVDからデータを読み取る

CDをセットして、市販のアプリケーションソフトなどをインストールしたり、データを使うことができます。
CD-R/RW & DVD-ROMドライブ搭載モデルでは、DVD-ROMのデータを使うこともできます。

CD・DVDについて

CDは、下記のマークのあるディスクをお使いください。

DVDは、「DVD ROM」と表示されているディスクをお使いください。

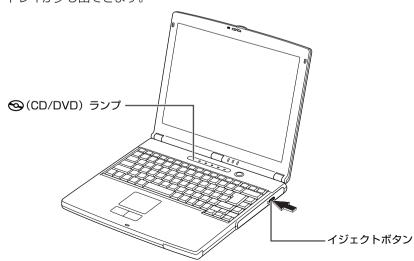
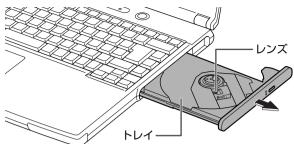
アプリケーションソフトのインストールについて

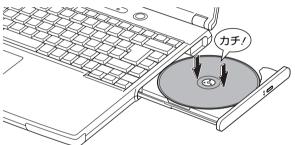
アプリケーションソフトをパソコンで使えるようにするには、ドライブにCD-ROMをセットし、インストール操作をします。インストールの方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

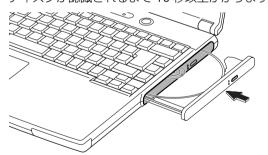
ディスクをセットする／取り出す

ディスクをセットする

1 **(CD/DVD)ランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。**

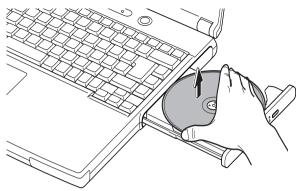
トレイが少し出てきます。

2 トレイを、止まるまでゆっくり引き出します。

3 ラベル面(文字が印刷されている面)を上にして、ディスクをトレイに置きます。

ディスクの中央を「カチッ」と音がするまで押さえてセットします。

4 「カチッ」と音がするまでトレイを押し込みます。

ディスクが認識されるまで 10 秒以上かかります。

ご注意

- ランプが点灯しているときは、イジェクトボタンを押さないでください。誤動作の原因となります。
- レンズに手を触れないでください。レンズが汚れると、故障の原因になります。レンズを拭くときは、糸くずの出ない綿棒で軽く拭いてください。

ディスクを取り出す

ディスクをセットするの手順 **3** で、ディスクの両端を持って取り出します。

ディスクの取り扱い

ディスクに記録されているデータやプログラム、ドライブを保護するために、次の注意をお守りください。

ディスクを持つときは、両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ち、ディスクの表面に手を触れたり、傷を付けないでください。

直射日光の当たるところや暖房機具の近く、ほこりの多いところなどでの使用・保管は避けてください。

文字などを書いたり、テープなどを貼ったりしないでください。
CD-RまたはCD-RWのラベル面に文字を書くときは、先の硬い筆記用具を使わないでください。傷が付くと、データが読めなくなります。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

テープなどののりがはみ出たものや、はがしたあとがあるものは使わないでください。

特殊形状(ハート形や八角形など)のディスクは使わないでください。

お手入れのしかた

信号面に汚れが付いたときは、ほこりの出ない乾いた柔らかい布で、中央から縁に向けてまっすぐに軽く拭きとってください。矢印と反対の方向に拭いたり、レコード盤のようにまわしながら拭くと傷がつくことがあります。

CD-R または CD-RW をお使いのときは

記録面に傷やほこりが付かないように注意してください。
傷やほこりが付くと、データの書き込みが正しくできなくなります。ほこりが付いたときは、カメラ用の清掃用ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズのお手入れ

ディスクトレイのレンズ（☞93ページ）に汚れが付いたときは、糸くずの出ない綿棒で軽く拭いてください。

次のものは使用しないでください。ディスクおよびレンズを傷める恐れがあります。

- アルコール、ベンジン、シンナーなどの化学薬品
- 研磨剤を含むクリーナ
- レコード用のスプレーやクリーナ
- 静電防止剤

基本 CD-R/RW にデータを書き込む

自分で作曲した曲でオリジナル音楽 CD を作ったり、複数の音楽 CD を 1 枚の音楽 CD にして自分で楽しんだり、増える一方の画像データや残しておきたいデータを CD-R または CD-RW に保存することができます。

CD-R と CD-RW は、どちらも書き込み可能なコンパクトディスクです。

CD-R データを1回だけ書き込めます。ディスクに空き容量があるときは、追加して書き込めます。記録済みの部分を消去することはできません。

書き込んだディスク　一部の CD-R 未対応のパソコンや CD プレーヤーでは読み出し／再生できません。

推奨ディスク　太陽誘電（株）製、（株）リコー製、三菱化学（株）製、三井化学（株）製、TDK（株）製、日立マクセル（株）製

CD-RW 記録済みの部分を消去して何度も書き込めます。（約 1000 回）
High Speed ドライブ用のディスクは書き込み／書き換えできません。

書き込んだディスク　CD-RW対応ドライブを搭載したパソコンや機器でしか読み出し／再生できません。

推奨ディスク　（株）リコー製、三菱化学（株）製

CD-R/RW にデータを書き込むときは、付属の編集ソフト Easy CD Creator または DirectCD をお使いください。編集ソフトの操作方法は、それぞれのオンラインマニュアルおよびヘルプを参照してください。

Easy CD Creator　：オリジナル CD を作ることができます。
DirectCD　：ファイル単位でデータを書き込むことができます。

書き込みに失敗しないために

書き込みが途中で不意に止まったりすることを避けるために、書き込みの操作をする前に、次の準備をしてください。

- AC アダプタを接続する。
- 「電源の管理のプロパティ」画面で「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」および「システム休止状態」を「なし」にする。（消費電力を節約する ☞76 ページ）
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する。
- スクリーンセーバーを「なし」にする。

- 書き込み中は、操作ボタンやキーを押さないでください。
- DirectCD は Windows システムの一部として動作していますので、常駐を解除しないでください。誤動作の原因になります。

フロッピーディスクに保存する

フロッピーディスク（FD）には、文書データなど比較的小さいデータが保存できます。

フロッピーディスクについて

フロッピーディスクには、2DD と 2HD の 2 種類があります。

2DD：720KB（キロバイト）　　2HD：1.44MB（メガバイト）

穴が1つ　　穴が2つ

使用できるフロッピーディスク

- **「DOS/V 用」と表示されたものを選んでください**
  フロッピーディスクを購入するときは、「DOS/V 用」（「DOS/V 機器対応」「DOS/V フォーマット済み」）と表示されたものを選んでください。
- **その他のフロッピーディスクはフォーマットすると使えます**
  「DOS/V 用」以外のフロッピーディスクは、フォーマット（初期化）すると、「DOS/V 用」として使えるようになります。（☞101 ページ）

ご参考

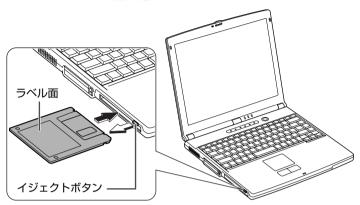
- フォーマットすると、フロッピーディスク内のデータはすべて消えてしまいます。大切なデータが入っていないか、あらかじめ確認してください。
- 1.2MBタイプのフロッピーディスクも使用できますが、使用上の制限事項があります。（☞153 ページ）

書き込み禁止タブについて

フロッピーディスクには、保存したデータを誤って消してしまわないように、書き込み禁止タブがついています。データを保存するときは、必ず書き込み可能の位置にしてください。書き込み禁止状態でもデータを読み込むことはできます。

フロッピーディスクに保存する

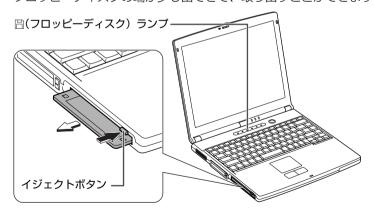
1 フロッピーディスクドライブに、書き込み可能状態にしたフロッピーディスクを入れます。

ラベル面を上にして差し込んでください。

正しく差し込まれると、イジェクトボタンが少し飛び出します。

斜めに入れたり、上下を逆にしたりして、無理に押し込まないでください。

2 使用しているアプリケーションソフトで、「保存する場所」を「3.5インチFD(A:)」に指定して、作成したデータを保存します。

3 (フロッピーディスク)ランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

フロッピーディスクの端が少し出てきて、取り出すことができます。

ご注意 ランプ点灯中はディスクを取り出さないでください

点灯中はディスクへの書き込みが実行されています。途中でディスクを抜くと、データが失われたり、破損したりすることがあります。

フロッピーディスクをフォーマット（初期化）する

フロッピーディスクをフォーマットすると、新しいディスクとして使用することができます。（記録されていたデータはすべて消去されます。）
フォーマットしたいフロッピーディスクが、書き込み禁止になっていないことを確認し、次のように操作してください。

1 **フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを入れます。**

2 **「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。**

3 **「3.5 インチ FD（A:）」アイコンを右クリックしてメニューを表示します。**

4 **「フォーマット」をクリックします。**

「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面が表示されます。

5 **「容量」欄で「1.44MB」（2HD の場合）または「720KB」（2DD の場合）を選択します。**

新しいディスクをフォーマットするときは、「フォーマットの種類」で「通常のフォーマット」を選んでください。

6 **[開始] をクリックします。**

フォーマットが始まります。
フォーマット後、「フォーマット結果」画面が表示されます。

7 **[閉じる] をクリックして「フォーマット結果」画面を閉じます。**

8 **[閉じる] をクリックして「フォーマット -3.5 インチ FD（A:）」画面を閉じます。**

9 **画面右上の ☒ をクリックして「マイコンピュータ」画面を閉じます。**

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータを保護するため、次のような点にご注意ください。

シャッタを開けて直接シート(記録面)に触れないでください。

落としたり、上に重いものを載せたり、曲げたりして、衝撃を与えないでください。

液体をこぼさないでください。

磁気を発生させるもの(磁石、スピーカなど)の近く、直射日光の当たるところや暖房機具の近く、ほこりの多いところなどでの使用･保管は避けてください。

音量を調節する

パソコンのスピーカやヘッドホン／オーディオ／光デジタルオーディオ出力ジャックの音量を調節する方法について説明します。

音量を調節するには

ここでは、以下の 2 つの方法について説明します。

- キーボード操作で調節する
- Windows で調節する

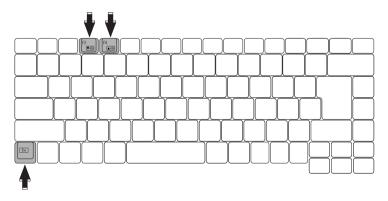
ご参考

キーボード操作での音量調節は、Windowsでの音量調節と連動しています。

キーボード操作で調節する

Fn キーを押しながらファンクションキーの F3 （▼🔉）または F4 （▲🔊）キーを押して、調節します。

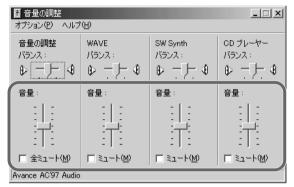
Fn ＋ F3 （▼🔉）：音量を下げます。

Fn ＋ F4 （▲🔊）：音量を上げます。

Windows で調節する

🔈 をダブルクリックして表示される画面で、音量を調節します。

1 タスクバーの 🔈 をダブルクリックします。

「音量の調整」画面が表示されます。

2 再生する音声に応じた項目の音量を調節します。

CD/DVD 再生時	：「WAVE」の音量を調節します。
WAVE 再生時	：「WAVE」の音量を調節します。
MIDI 再生時	：「SW Synth」の音量を調節します。

大切なデータをバックアップする

パソコンを使っていくうちに、送受信した電子メールや作成した文書など、大切なデータがハードディスクの中に保存されていきます。データが読み出せなくなるなどの万一の場合に備えて、大切なデータは他の場所にもコピーしておきましょう。
データをコピーして他の場所に保存しておくことを、「バックアップ」といいます。
大切なデータは、日ごろからこまめにバックアップするようにしてください。

このパソコンのハードディスクには、Windows やアプリケーションソフトなどがインストールされているCドライブの他に、何もデータが入っていないDドライブが用意されています。大切なデータは、ひとまずDドライブにバックアップしておきましょう。
Windowsの動作が不安定になるなどして再インストールする場合に、Cドライブの内容だけをご購入時の状態に復元すれば、Dドライブに保存されているデータは消さずに残すことができます。

ご注意

- Dドライブへのバックアップは、あくまでも一時的な対処法です。ハードディスク自体が故障してしまったときはDドライブの内容も読み出せなくなります。フロッピーディスクやCD-Rなどの記録メディアにもバックアップするようにしてください。
- ネットワークの設定などはファイルをコピーするだけではバックアップできません。必ずメモに控えておいてください。
- バックアップした後に、メールの送受信、データの作成や編集をしたデータは、バックアップデータを戻して復元すると失われてしまいます。

D ドライブにフォルダを作成する

何のデータをバックアップしたかわかりやすく整理するために、バックアップをする前にあらかじめフォルダを作成しておきます。

1 **「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。**

2 **「ローカルディスク (D:)」アイコンをダブルクリックします。**

3 **「ファイル」メニューをクリックし、「新規作成」－「フォルダ」をクリックします。**

「新しいフォルダ」が作成されます。フォルダを作成した直後は、フォルダ名が青く反転されていて、名前を変更できる状態になっています。

4 **「マイドキュメント」と入力して、フォルダ名を変更します。**

5 **手順 3 と手順 4 を繰り返して、以下のフォルダをそれぞれ作成します。**

- お気に入り
- メール
- アドレス帳
- メールアカウント
- IME

ファイルをバックアップする

ご購入時の状態では、アプリケーションソフトなどで作成した文書ファイルやデータファイルは、主にデスクトップの「マイドキュメント」フォルダ内に保存されるようになっています。（アプリケーションソフトによっては、他のフォルダにデータが保存されている場合もあります。）これらのデータを D ドライブの「マイドキュメント」フォルダにコピーしてください。

ドラッグアンドドロップでファイルをフォルダへ移動させると、コピーできます。

（パッド型ポインティングデバイスを使う ☞80 ページ）

Internet Explorer の「お気に入り」をバックアップする

Internet Explorer の「お気に入り」は、以下の手順でバックアップします。

1 **Internet Explorer を起動します。**
インターネットに接続する必要はありません。

2 **「ファイル」メニューをクリックし、「インポートおよびエクスポート」をクリックします。**
「インポート / エクスポートウィザード」画面が表示されます。

3 **[次へ] をクリックします。**

4 **「お気に入りのエクスポート」を選択し、[次へ] をクリックします。**

5 **「Favorites」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。**

6 **保存先を D ドライブの「お気に入り」フォルダにし、[次へ] をクリックします。**

7 **[完了] をクリックします。**
「お気に入りのエクスポートに成功しました」と表示されます。

8 **[OK] をクリックします。**

Outlook Express のデータをバックアップする

Outlook Express の電子メールをバックアップする

ご購入時の設定では Outlook Express の電子メールデータは、すべて以下のフォルダに登録されています。「Outlook Express」フォルダを D ドライブの「メール」フォルダにコピーしておいてください。
C:¥WINDOWS¥Application Data¥Identities¥{電子メールアカウントごとに特定の文字列※}¥Microsoft¥Outlook Express

※ ユーザごとに異なる英数字の名前がつけられています。

Outlook Express のアドレス帳をバックアップする

Outlook Express に登録したアドレス帳は、以下の手順でバックアップします。

1 **Outlook Express を起動します。**
インターネットに接続する必要はありません。

2 **「ツール」メニューをクリックし、「アドレス帳」をクリックします。**
「アドレス帳」画面が表示されます。

3 **「ファイル」メニューをクリックし、「エクスポート」－「アドレス帳（WAB）」をクリックします。**
「エクスポートするアドレス帳ファイルの選択」画面が表示されます。

4 **保存名を入力し、保存先をDドライブの「アドレス帳」フォルダに指定し、[保存] をクリックします。**
「アドレス帳が次の場所にエクスポートされました」と表示されます。

5 **[OK] をクリックします。**

Outlook Express のメールアカウントの設定をバックアップする

メールアドレスやメールサーバなどの設定は以下の手順でバックアップします。複数のユーザで Outlook Express を使用している場合は、それぞれの設定を個別にバックアップしてください。

1 **Outlook Express を起動します。**
インターネットに接続する必要はありません。

2 **「ツール」メニューをクリックし、「アカウント」をクリックします。**
「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3 **「メール」タブをクリックします。**

4 **バックアップしたいアカウントを選択し、[エクスポート]をクリックします。**

5 **保存先を D ドライブの「メールアカウント」フォルダに指定し、[保存] をクリックします。**

6 **[閉じる] をクリックします。**

ネットワークの設定をバックアップする

Internet Explorer の設定を控える

Internet Explorer の設定は以下の手順でメモに控えます。接続設定以外にもホームページやフォントの設定などを変更している場合は、それぞれメモに控えるようにしてください。

1. **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「インターネットオプション」アイコンをダブルクリックします。**
   「インターネットのプロパティ」画面が表示されます。
2. **すべてのタブの設定内容をメモに控えます。**

ダイヤルアップの設定を控える

プロバイダのアクセスポイントの電話番号やユーザ名、パスワードなどは以下の手順でメモに控えます。「新しい接続」以外のすべてのファイルの設定内容をそれぞれメモに控えるようにしてください。

1. **スタートメニューから「設定」ー「ダイヤルアップネットワーク」をクリックします。**
2. **を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。**
3. **すべてのタブの設定内容をメモに控えます。**
   「ネットワーク」タブの［TCP/IP 設定］の内容も忘れずに控えてください。

ネットワークの設定を控える

パソコンのネットワーク設定は以下の手順でメモに控えます。モデムとLANを両方お使いの場合は、両方の設定を控えるようにしてください。

1. **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。**
   「ネットワーク」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。
2. **「現在のネットワークコンポーネント」欄に表示されている内容をメモに控えます。**

3 「現在のネットワークコンポーネント」欄からどちらかを選択し、[プロパティ] をクリックします。

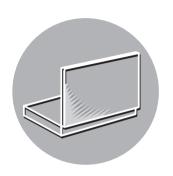
モデムの設定 ---「TCP/IP -> ダイヤルアップアダプタ」

LAN の設定 -----「TCP/IP -> VIA PCI 10/100Mb Fast Ethernet Adapter」

4 すべてのタブの設定内容をメモに控えます。

IME のユーザ辞書をバックアップする

ご購入時の設定ではIMEのユーザ辞書は以下のファイルに登録されています。ファイルを D ドライブの「IME」フォルダにコピーしておいてください。

C:¥Program Files¥Common Files¥Microsoft Shared¥IME¥IMJP¥UsrDicts¥imjp8u

周辺機器

プリンタや外部ディスプレイなどの周辺機器を接続すると、パソコンの用途が拡がります。PCカードを差し込んで新しい機能を追加することもできます。

周辺機器を接続しよう

接続できる機器を確かめる

プリンタやマウスなど周辺機器を購入するときは、コネクタの形状が合っているか、自分のパソコンに対応しているのか、などを確かめましょう。

使える周辺機器を確かめる

Windows Me に対応している周辺機器を選びましょう

周辺機器のカタログやパッケージで、Windows Meに対応しているか確認してください。

専用のドライバソフトをインストールするものがあります

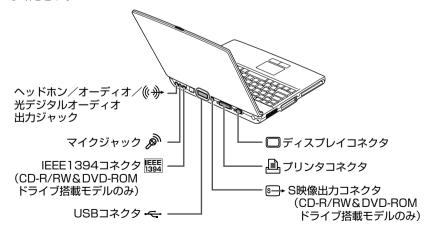
ドライバソフトは、周辺機器を認識するためのソフトウェアです。ドライバソフトのフロッピーディスクやCD-ROMが付属されている場合は説明書に従ってパソコンにインストールしましょう。

ご参考

接続可能な周辺機器については、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、下記のメビウスのホームページを参照してください。

http://support.sharp.co.jp/mebius/index.asp

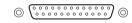
コネクタの形状を確かめる

このパソコンには次のようなコネクタがあります。コネクタの名前や形状を確認してください。

USB コネクタ（A タイプ）

USB規格対応の機器を接続します。接続できる機器には、「USB対応」などの表示があります。USB対応機器には、マウス、キーボード、プリンタ、モデム、スピーカなどがあります。
USB機器を接続するときは、パソコンの電源を切る必要がありません。

コネクタの形状

プリンタコネクタ（D-Sub 25 ピン、メス）

Windowsパソコン用の多くのプリンタは、このコネクタに接続するように作られています。一般に「パラレルインタフェース」と呼ばれます。プリンタ側は 36 ピンになっています。
USB対応のプリンタをUSBコネクタに接続することもできます。

コネクタの形状

ディスプレイコネクタ（D-Sub 15 ピン、メス）

パソコン用のCRTディスプレイや液晶ディスプレイを接続します。

コネクタの形状

S 映像出力コネクタ

S 映像入力端子のあるテレビを接続します。
（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ）

コネクタの形状

IEEE
1394

IEEE1394 コネクタ（DV コネクタ）（4 ピン）

デジタルビデオカメラなどを接続できます。
（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ）

コネクタの形状

ご参考

コネクタの違う機器も変換アダプタを使って接続できることがあります。変換アダプタにも「PC/AT互換機対応」などの表示がありますから、よく確かめてお使いください。

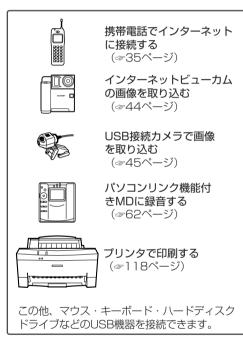
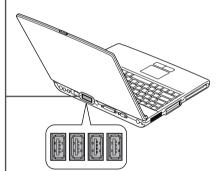
周辺 USB 機器を使う

USB 機器を接続するには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、USB 機器の説明書もあわせて参照してください。

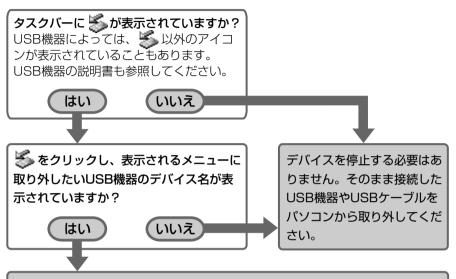
- Windows Me に対応している USB 機器を用意する。
- パソコンに USB 機器を接続する。
- ドライバソフトが必要な場合、ドライバソフトをパソコンにインストールする。

USB 機器を接続する

USB 機器に付属または市販の USB ケーブルで USB 機器とパソコンを接続します。
USB機器とパソコンとを接続するときは、USBケーブルの マークを左に向けて接続してください。

ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、USB機器を接続することができます。
- 接続したUSB機器によっては、接続した後に対応するドライバソフトが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、警告音が鳴り、画面が表示されますので、画面の指示に従ってドライバソフトをインストールしてください。

USB 機器を取り外す

ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブなど、データを格納する周辺機器(記憶装置)は、取り外す前にデバイスを停止する必要があります。接続しているUSB機器は、デバイスを停止する必要があるかどうか、取り外す前に必ず確認してください。

1. タスクバーの をクリックします。

2. 表示されるメニューから、取り外したいUSB機器のデバイス名をクリックします。

3. [OK] をクリックします。

4. パソコンから USB 機器や USB ケーブルを取り外します。

周辺 IEEE1394 機器を使う
（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ）

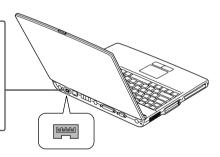
IEEE1394 機器を接続するには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、IEEE1394 機器の説明書もあわせて参照してください。

- Windows Me に対応している IEEE1394 機器を用意する。
- パソコンに IEEE1394 機器を接続する。
- ドライバソフトが必要な場合、ドライバソフトをパソコンにインストールする。

IEEE1394 機器を接続する

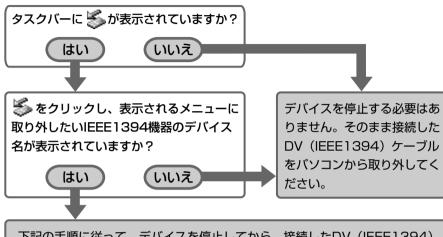
IEEE1394 機器に付属または市販の DV（IEEE1394）ケーブルで IEEE1394 機器とパソコンを接続します。
DV（IEEE1394）ケーブルは、市販の４ピン←→４ピンのものをお使いになり、パソコンに接続する方のコネクタにできるだけ近い位置に、付属のコアを取り付けてください。コアの取り付け方については、デジタルビデオカメラの映像を取り込む（☞46 ページ）を参照してください。

デジタルビデオカメラの映像を取り込む
（☞46ページ）

この他、ハードディスクドライブ・CD-R/RW ドライブなどのIEEE1394機器を接続できます。

ご参考

- パソコンの電源を入れた状態で、IEEE1394機器を接続することができます。
- 接続したIEEE1394機器によっては、接続した後に対応するドライバソフトが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、警告音が鳴り、画面が表示されますので、画面の指示に従ってドライバソフトをインストールしてください。

IEEE1394 機器を取り外す

ハードディスクドライブなど、データを格納する周辺機器(記憶装置)は、取り外す前にデバイスを停止する必要があります。接続しているIEEE1394機器は、デバイスを停止する必要があるかどうか、取り外す前に必ず確認してください。

1 タスクバーの をクリックします。

2 表示されるメニューから、取り外したいIEEE1394 機器のデバイス名をクリックします。

3 [OK] をクリックします。

4 パソコンから DV (IEEE1394) ケーブルを取り外します。

プリンタで印刷する

プリンタを接続して印刷するには、次の準備が必要です。
作業内容や手順などは、プリンタの説明書もあわせて参照してください。

- Windows Me パソコン用のプリンタを用意する。
- パソコンにプリンタを接続する。
- プリンタドライバを、パソコンにインストールする。

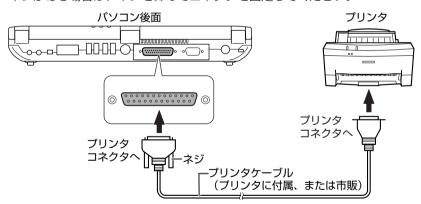
プリンタを接続する

プリンタコネクタにプリンタを接続する

ご注意

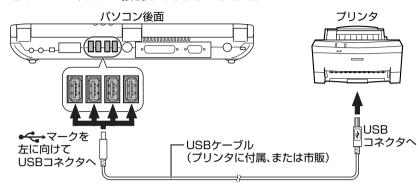
プリンタを接続するときは、必ずパソコンとプリンタの電源を切っておいてください。パソコンやプリンタの故障や誤動作の原因になります。

1 **パソコンとプリンタの電源を切ります。**

2 **パソコンとプリンタを接続します。**
ネジがある場合は、ネジを締めてコネクタを固定してください。

3 **プリンタの電源を入れます。**

4 **パソコンの電源を入れます。**
印刷のしかたについては、各アプリケーションソフトの説明書またはヘルプを参照してください。

USB コネクタにプリンタを接続する

USB タイプのプリンタは、電源を入れたまま接続できます。
どの USB コネクタに接続してもかまいません。

プリンタドライバをインストールする

プリンタを使用するためには、プリンタドライバのインストールが必要です。
プリンタの説明書を参照して、プリンタドライバをインストールしてください。プリンタに付属のフロッピーディスクや CD-ROM を使うこともあります。

別売のカラーインクジェットプリンタ Prizma をお使いの場合
このパソコンには、下記の別売のカラーインクジェットプリンタ Prizma用ドライバがあらかじめインストールされています。プリンタに付属のプリンタドライバをインストールする必要はありません。
AJ-2000、AJ-2000LE、AJ-2000ME、AJ-2100

周辺 外部ディスプレイに表示する

アナログCRTディスプレイやアナログ液晶ディスプレイを接続すると、もうひとつのディスプレイにもパソコンの画面を表示することができます。

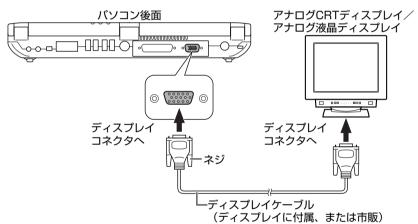
テレビに表示する

CD-R/RW & DVD-ROMドライブ搭載モデルでは、S映像端子接続ケーブルを使ってパソコンとテレビを接続し、パソコンの画面をテレビに表示することもできます。接続のしかたについては、テレビでDVDビデオを見る （☞59 ページ）を参照してください。

CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを接続する

1 パソコンとディスプレイの電源を切ります。

2 パソコンとディスプレイを接続します。

ネジがある場合は、ネジを締めてコネクタを固定してください。

3 ディスプレイの電源を入れます。

4 パソコンの電源を入れます。

ディスプレイドライバをインストールする

アナログCRTディスプレイ／アナログ液晶ディスプレイを使用するためには、ディスプレイドライバのインストールが必要な場合があります。ディスプレイの説明書を参照して、ディスプレイドライバをインストールしてください。ディスプレイに付属のフロッピーディスクや CD-ROM を使うこともあります。

画面の表示先を切り替える

1 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

2 「設定」タブをクリックし、[詳細] をクリックします。

3 「S3Display」タブをクリックし、表示したいディスプレイをクリックしてチェックマークを付けます。
複数のディスプレイを有効にすることもできます。

4 [OK] をクリックします。

5 確認画面で [OK] をクリックします。
画面の表示先が切り替わります。

6 確認画面で [はい] をクリックします。

7 [OK] をクリックして「画面のプロパティ」画面を閉じます。

8 画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。

ご参考

- 動画の再生中やゲームソフトの使用中は、表示モードが切り替わらないことがあります。
- パソコンのディスプレイと同時表示をするには、1024 × 768 ドット以上が表示可能なディスプレイが必要です。それ以外のディスプレイでは、正常に表示されません。

外部ディスプレイの解像度を変える

ディスプレイの解像度や色を変える（☞89 ページ）を参照してください。

設定可能な解像度と色数

解像度（ドット）	640 × 480、800 × 600、1024 × 768 1280 × 1024※1、1600 × 1200※1
色数※2	256 色、65536 色、1677 万色

※ 1 外部ディスプレイが対応していれば選択できます。このとき、同時表示および内蔵ディスプレイのみの表示では、領域のうち 1024 × 768 ドットが表示されます。隠れている部分を見るには、その部分がある方向の画面の端にマウスポインタを動かすと画面がスクロールして見えるようになります。

※ 2 解像度が 1280 × 1024 または 1600 × 1200 のときの色数は、最大 65536 色です。

ご参考

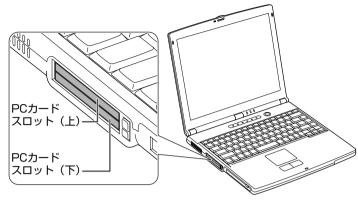
- 「色」の設定と表示の色数は以下の通りです。
  High Color（16 ビット）　：65536 色
  True Color（32 ビット）　：1677 万色
- 「True Color」に設定した場合には、次のようになることがあります。
  ・画面の描画速度が少し遅くなる。
  ・動画を表示すると、画面が乱れる場合がある。

CRT ディスプレイ／液晶ディスプレイを取り外す

1 パソコンとディスプレイの電源を切ります。

2 パソコンからディスプレイケーブルを取り外します。

周辺 PCカードを使う

PCカードをパソコンのPCカードスロットに差し込むと、周辺機器を接続したときと同じ役割をはたしたり、パソコン自体の機能を増やしたりすることができます。

このパソコンで使えるPCカード

- PCMCIA Rel.2.1/JEIDA Ver 4.2 規格に準拠した Type II および Type III の PC カード
- CardBus 対応の PC カード

	ソケット番号	カードの種類	CardBus
上のスロット	ソケット 1	Type II	対応
下のスロット	ソケット 2	Type II または Type III	対応

ご参考

Type IIIのPCカードは厚みがあるため、下のスロットに差し込みます。このとき、上下のスロットのスペースを使うため、他のカードと同時に使うことはできません。

PCカードの種類

PC カードには、次のような種類があります。

メモリカード	データを保存して、持ち運ぶことができます。フロッピーディスクに比べて大容量のデータの保存や移動が可能です。
携帯電話用接続カード	携帯電話を使ってインターネットに接続するための P C カードです。

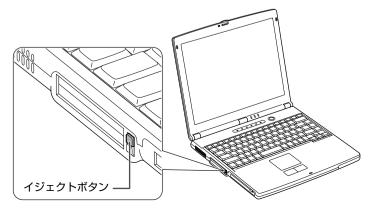
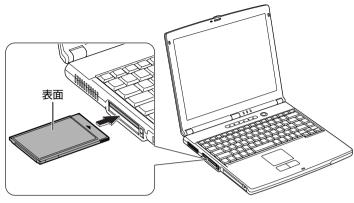
ISDN 接続用 TA（ターミナルアダプタ）カード	PC カードタイプの TA（ターミナルアダプタ）です。 TA を USB コネクタなどに接続した場合と同じ働きをします。
ネットワークカード	ネットワーク（LAN）に接続するための PC カードです。
PC カード型アダプタ	デジタルカメラなどで使うメモリカードに保存されたデータをパソコンに取り込むことができます。
インタフェースカード	SCSI（スカジー）など、規格の違う端子を持つ機器との接続が可能になります。

PC カードを差し込む

PC カードスロットはパソコンの左側に 2 つあります。ここでは、上の PC カードスロットを例にして説明します。

ご参考

- 電源を入れた状態で、PC カードを差し込むことができます。
- 初めてPCカードを差し込んだときは、対応するドライバソフトが自動的にインストールされます。インストールされない場合は、警告音が鳴り、画面が表示されますので、画面の指示に従ってドライバソフトをインストールしてください。

1 **イジェクトボタンが飛び出していないことを確認します。**
飛び出している場合は、イジェクトボタンを押し込んでください。

2 表面が上にくるようにして、PC カードをしっかりと差し込みます。

PC カードを取り出す

取り出す前に、パソコンの操作で、PC カードの使用を停止する必要があります。

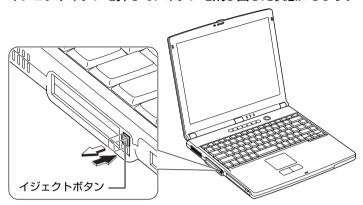
ご注意

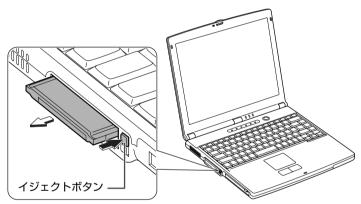
必ず下記の手順どおりに操作してPCカードを取り出してください。正しく操作して取り出さないと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1 タスクバーの をクリックします。

2 「XXXXXXXX の停止」をクリックします。

3 [OK] をクリックします。

4 イジェクトボタンを押して、ボタンを飛び出した状態にします。

5 飛び出したイジェクトボタンを押して、PC カードを取り出します。

ボタンを押し込むと、PCカードが少し出てきますので、引き出してください。

ご注意　PC カードは熱くなっていることがあります

PCカードによっては、長時間使用した場合、熱くなるものがあります。取り出すときに注意してください。

6 イジェクトボタンを押して、元の位置に戻します。

周辺 外部機器から音声を入力する

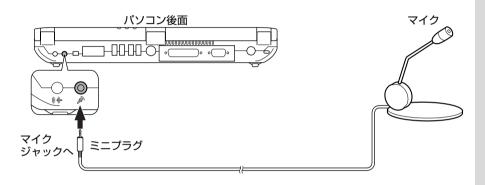
付属または市販のマイクを接続して、アナログ音声を入力できます。

外部マイクから音声を入力する

接続できるマイクの仕様は次のとおりです。

タイプ：エレクトレットコンデンサマイク

電源電圧：DC2.5 V

適合インピーダンス：2.2 k Ω

マイクから音声を録音する

1 **スタートメニューから「プログラム」－「アクセサリ」－「エンターテイメント」－「サウンドレコーダー」をクリックします。**

サウンドレコーダーが起動します。

2 **録音を開始するには、 ● をクリックします。**

3 **録音停止するには、 ■ をクリックします。**

ご参考

サウンドレコーダーの使い方については、サウンドレコーダーのヘルプを参照してください。

周辺 メモリを増設する

メモリを増やすと、パソコンが一時的に記憶するデータ容量を増やすことになります。その結果、大容量のデータを処理できるようになったり、複数のアプリケーションソフトを起動しても、快適に操作できるようになります。
このパソコンには、あらかじめ128MB（メガバイト）のメモリが内蔵されています。市販の増設RAM ボードを取り付けて、メモリ容量を増やすことができます。

増設 RAM ボードの容量	増設後の合計容量
64MB	192MB
128MB	256MB
256MB	384MB

取り付け可能な増設 RAM ボードについて
取り付け可能な増設RAMボードについては、お買い上げの販売店にお問い合わせいただくか、下記のメビウスのホームページを参照してください。
http://support.sharp.co.jp/mebius/index.asp

増設 RAM ボードを取り付ける／取り外す

RAMボードは静電気に非常に弱い部品です。そのため、身体に残った静電気などで破損することがあります。取り扱うときは、必ず次の事項を守ってください。

- 取り扱う前に、金属に触れるなどして身体の静電気を逃がしておく。
- 静電気の起きやすい場所（カーペットの上など）では、取り付け作業をしない。
- RAM ボードの端子部分は、手で触れない。
- RAM ボードを保管するときは、RAM ボードを覆っていた静電気保護材、またはアルミ箔などの導電性の保護材で覆う。

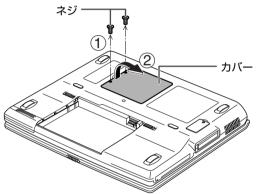
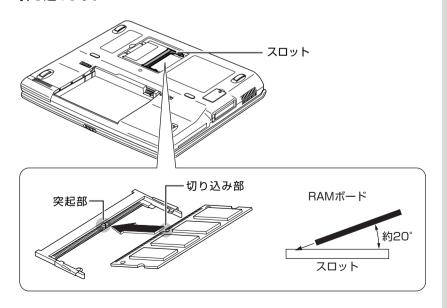
増設 RAM ボードを取り付ける

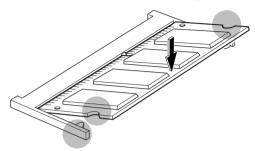
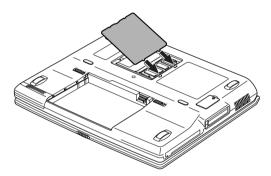
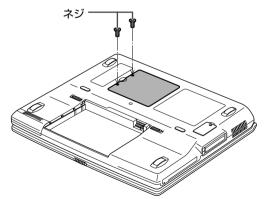
1 パソコンの電源を切り、AC アダプタとバッテリパックを取り外します。
バッテリパックの取り外し方については、バッテリパックを交換する（☞73 ページ）を参照してください。

- 必ずパソコンの電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取り外してください。故障の原因になります。
- 長時間使用した直後は、パソコン内部が熱くなっていることがあります。温度が下がるのを待ってから取り付けてください。

2 **カバーを取り外します。**

①カバーのネジを外します。

②カバーを取り外します。

3 **RAM ボードの切り込み部を、スロットの突起にあわせて、斜めにしっかり押し込みます。**

4 **RAM ボードの左右の切り込み部を、スロットの突起部に合わせて、ゆっくりと押し下げます。**

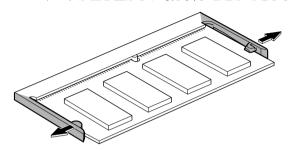
正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

5 **カバーの2箇所のツメをパソコンの切り込み部にはめ込み、しっかり奥まで押し込んでから、静かにカバーを元の位置に戻します。**

6 **カバーをネジで固定します。**

7 **バッテリパックと AC アダプタを取り付けます。**

取り付けが終わったら、電源を入れてメモリ容量を確認してください。

（メモリの容量を確認する ☞ 次ページ）

増設 RAM ボードを取り外す

増設 RAM ボードを取り付けるの手順 **3**、**4** で、RAM ボードスロットの 2 つのツメを外側に開きます。

RAM ボードが立ち上がり、取り外すことができます。

メモリの容量を確認する

1 **スタートメニューから、「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。**

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

「システム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

メモリ容量が表示されます。

表示されるのは、ビデオメモリとして使用される分（ご購入時の状態では 8MB）を引いた値です。また、ドライバがメモリを使用している場合は、その分少なく表示されます。

2 **[OK] をクリックして、画面を閉じます。**

3 **画面右上の ☒ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

付録

付録 シャープ独自のフォントを使う

このパソコンには、シャープ独自のTrue Typeフォント（2書体）がインストールされています。
付属のCD-ROMには、さらに11書体が収録されています。

インストールされているフォントを使う

インストールされている2書体は、液晶画面で見やすく、読みやすくなるように設計されたLCフォントです。インターネットのブラウザソフトやメールソフトが読みやすくなります。
この2書体は、各ソフトウェアの画面設定の書体を変更するだけで使用できます。

SH G30-M：すべての文字が同じ幅を持つモノスペースフォントで、文章の本文から小見出しまでの表示に適しています。

SH G30-P ：文字ごとに幅を変えて見た目に美しいように考えられているプロポーショナルフォントで、文字形状に合わせた字詰めにより、より美しく、読みやすい文章を表示できます。

SH G30-M
優Intelligence

SH G30-P
優Intelligence

CD-ROMに用意されているフォントを使う

次の11書体は、お好みのフォントをインストールしてお使いください。
ページデザイナー（ホームページ／マルチメディア文書作成ソフト）がインストールされているモデルでは、※マークのフォントはインストールされています。

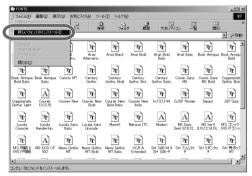
SH スリムタッチ	SH 丸ポップ W7	SH 角ポップ W7	SH クリスタルタッチ	SH ダイヤタッチ	SH ブラシタッチ
優※	優※	優※	優	優	優

SH プリンセスタッチ	SH リボンタッチ	SH ロボットタッチ	SH つくしタッチ	SH 小枝タッチ
優	優※	優	優	優※

CD-ROMからフォントをインストールする

1 **付属の「プロダクトリカバリCD-ROMディスク3」をドライブにセットします。**

2 **スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「フォント」アイコンをダブルクリックします。**
「FONTS」画面が表示されます。
「フォント」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。

3 **「ファイル」メニューをクリックし、「新しいフォントのインストール」をクリックします。**

「フォントの追加」画面が表示されます。

4 **「ドライブ」欄の ▼ をクリックし、リストから「r:」をクリックします。**

5 **「フォルダ」欄で「shpfont」をダブルクリックします。**
「フォントの一覧」欄にフォントが一覧表示されます。

6 **「フォントの一覧」欄でインストールしたいフォントを選び、「[FONTS]フォルダにフォントをコピーする」がチェックされていることを確認して、[OK]をクリックします。**
フォントがインストールされます。

7 **画面右上の ✕ をクリックして「FONTS」画面を閉じます。**

8 **画面右上の ✕ をクリックして「コントロールパネル」画面を閉じます。**

付録 オリジナルの外字を使う

このパソコンでは、あらかじめ「筆王」(はがき作成ソフト)用の外字が登録されています。外字エディタで作成したオリジナルの外字を利用するときは、以下の手順に従って筆王の外字フォントを解除してください。

筆王の外字フォントを解除する

1 スタートメニューから「プログラム」ー「筆王」ー「外字フォントの登録と解除」をクリックします。

「外字フォントの登録と解除」画面が表示されます。

2 「筆王の外字フォントを解除する(登録する前の状態に戻す)」をクリックして選択し、[OK] をクリックします。

3 [はい] をクリックします。

4 [OK] をクリックします。

「筆王」用の外字に戻すときは

上記手順**2**で「筆王の外字フォントを登録する」を選択し、[OK] をクリックします。

付録 セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、パソコンの動作環境に関する設定(接続した周辺機器の有効／無効、パスワードの設定など)を変更するためのユーティリティです。

セットアップユーティリティの内容は、ご購入時に適切に設定されています。必要なとき以外は操作しないでください。

セットアップユーティリティには、次のようなメニューがあります。

- Main メニュー
- Advanced メニュー
- Security メニュー
- Exit メニュー

ご参考

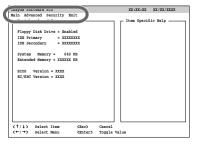
誤って変更してしまったときは、すべての設定を初期値に戻す(☞143ページ)の操作をしてください。

設定内容を変更する

1 **電源を入れます。**

2 **画面の左下に「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **設定したいメニューをクリックします。**

選んだメニューの設定項目が表示されます。

4 **設定項目をクリックします。**

```
 Date and Time
 Hard Disk Type
 Boot Sequence
√ Internal Numlock
√ Hot Key Beep
√ USB Emulation
```

"√" または "＿" マークのある項目は

クリックするたびに設定が切り替わります。

"√"：有効

"＿"：無効

マークのない項目は

クリックすると、サブメニューが表示されます。

現在の設定には、"•" マークが付いています。他の値をクリックすると、"•" マークが移動します。設定したい値をクリックして "•" マークを移動し、[OK] をクリックします。

キーボードで操作するには

次のキーを押します。（画面の下段に操作案内が表示されています。）

メニュー表示時のキー操作

← → ：メニューを選びます。

↓ ↑ ：項目を選びます。

⏎ ：設定を切り替えます。またはサブメニューを表示します。

サブメニュー表示時のキー操作

Tab ：項目間を移動します。

↓ ↑ ：設定内容を変更します。（"•" マークが移動します。）

Esc ：設定を取り消し、１ステップ前の状態に戻ります。

⏎ ：設定を保存し、メニューに戻ります。
（ただし[Cancel]選択時を除く。）

0 ～ 9 ：日付や時刻を入力する。

5 **「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」をクリックします。**

6 **「Save your changes and exit now?」と表示されたら、[OK]をクリックます。**

変更した内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows Me が起動します。

ご参考

セットアップユーティリティの操作中は、省電力機能は働きません。ディスプレイパネルを閉じないでください。

Main メニュー

日付と時刻、システム起動時にデータを読み取りに行く場所(デバイス)など、システムの基本的な設定項目があります。

Date and Time

時刻と日付を設定します。(24 時間制で 日/月/年、時/分/秒の順)

Hard Disk Type

ハードディスクのタイプを設定します。通常は「Ultra DMA-100」のままお使いください。

Boot Sequence

システム起動時に使用するデバイスの順序を設定します。それぞれの項目に同じドライブが重複しないように設定してください。

1st Boot Device : 最初に使用するデバイス
2nd Boot Device : 2 番目に使用するデバイス
3rd Boot Device : 3 番目に使用するデバイス
Hard Disk Drive : ハードディスクドライブから起動
Floppy Disk Drive : フロッピーディスクドライブから起動
CD-ROM Drive : CD-R/RW ドライブまたは CD-R/RW & DVD-ROM ドライブから起動

Internal Numlock

Fn + NumLk キーを押したときに、内蔵キーボードを数字キーロックモードに切り替える/切り替えないを設定します。

"√" 表示時 : 切り替える "_" 表示時 : 切り替えない

Hot Key Beep

Fn キーと、F5、F6、F7、F8、F10、F11、F12 の各キーを組み合わせて押したときに、音を鳴らす/鳴らさないを設定します。

"√" 表示時 : 鳴らす "_" 表示時 : 鳴らさない

USB Emulation

Windows Me が起動していない状態で、USB キーボード、USB マウスおよび USB フロッピーディスクドライブを使用する/使用しないを設定します。

"√" 表示時 : 使用する "_" 表示時 : 使用しない

Advanced メニュー

パソコンの動作に関する設定項目があります。

LPT Port

- **Port Address**

プリンタポートの I/O アドレスと IRQ を割り当てます。または使用禁止にします。

Disabled　：使用禁止
LPT1, 378, IRQ 7　：I/O ポートアドレスは 378、IRQ は 7
LPT2, 278, IRQ 5　：I/O ポートアドレスは 278、IRQ は 5
LPT3, 3BC, IRQ 7　：I/O ポートアドレスは 3BC、IRQ は 7

- **Port Definition**

プリンタポートのモードを設定します。使用する機器に合わせて設定してください。

Output Only　：出力のみのモード
Bi-Directional　：双方向モード
EPP　：Enhanced Parallel Port モード
ECP　：Extended Capabilities Port モード

Internal Pointing Device

パッド型ポインティングデバイスの有効／無効を設定します。

“ √ ” 表示時　：有効にする　“ _ ” 表示時　：無効にする

Shared Video Memory

エクステンドメモリと共有するビデオメモリのサイズ(8M/16M/32M)を設定します。

Resolution Expansion

640 x 480 ドットまたは 800 x 600 ドット表示にしたときに、画面全体に拡大して表示するか、拡大せずに中央に表示するかを設定します。

“ √ ” 表示時　：拡大する　“ _ ” 表示時　：拡大しない

Battery Low Warning Beep

バッテリパックの容量が少なくなったときに、警告音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

“ √ ” 表示時　：鳴らす　“ _ ” 表示時　：鳴らさない

Wake On LAN

内蔵LANインターフェースが起動用パケットを受信したときに、スタンバイから復帰させる／復帰させないを設定します。

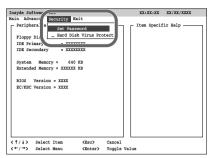
“ √ ” 表示時　：復帰させる　“ _ ” 表示時　：復帰させない

Wake On Ring

内蔵モデムに着信があったときに、スタンバイから復帰させる／復帰させないを設定します。

“ √ ” 表示時　：復帰させる　“ _ ” 表示時　：復帰させない

Security メニュー

パスワードの登録など、パソコンの安全機能に関する設定項目があります。

Set Password

パスワードを登録します。8 文字までの英数字で設定してください。

Hard Disk Virus Protect

ハードディスクのブートセクタへの書き込みを禁止する／禁止しないを設定します。ハードディスクのフォーマットや再インストールするときなどは、“ _ ”にしてください。

“ √ ”表示時　：禁止する　“ _ ”表示時　：禁止しない

パスワードを登録／変更／削除する

パスワードを登録しておくと、起動時にパスワード入力画面が表示され、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。

必要のないときは、パスワードを設定しないでください。パスワードを忘れると、パソコンが起動できなくなります。

1 **「Security」メニューをクリックします。**

設定項目が表示されます。

2 **「Set Password」をクリックします。**

パスワード入力画面が表示されます。

数字キーロックモードは解除しておくことをお勧めします。パスワードは 8 文字までの半角英数字、および記号で設定してください。

初めて登録するとき

① 「Enter new Power-On Password」で、パスワードを入力し、[⏎]キーを押します。

② 「Verify new Power-On Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[⏎]キーを押します。

変更／削除するとき

①「Enter old Power-On Password」で、現在のパスワードを入力し、[↵]キーを押します。

②「Enter new Power-On Password」で、新しいパスワードを入力し、[↵]キーを押します。

③「Verify new Power-On Password」で、確認のためもう一度同じパスワードを入力し、[↵]キーを押します。

パスワードを削除するときは、手順②と③で何も入力せずに[↵]キーを押します。

3 パスワードを登録／変更したときは、「Password on Boot」の左にチェックマーク（×）が付いていることを確認します。

4 [OK] をクリックします。

5 「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」をクリックします。

6 「Save your changes and exit now?」と表示されたら、[OK]をクリックします。

設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows Meが起動します。

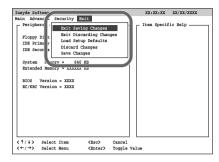
パスワードを登録したパソコンを起動する

パスワードを登録したパソコンを起動するには、表示されるパスワード入力画面（下記）にパスワードを入力します。入力しないと、次の操作に進むことができません。

```
Enter Password : ........
```

パスワードの入力を間違えると、「Password Error」画面が表示されますので、[↵]キーを押してパスワードを再入力してください。パスワードの入力を3回間違えると、「The password is incorrect. System will be shut down.」と表示されます。このときは、[↵]キーを押すと電源が切れますので、その後10秒以上たってから、電源を入れ直してください。

Exit メニュー

セットアップユーティリティの設定を、取り消す、初期値に戻す、設定内容に変更するなどを選んで、終了する画面です。

Exit Saving Changes
変更内容を保存して、セットアップユーテリティを終了します。

Exit Discarding Changes
変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了します。

Load Setup Defaults
セットアップユーティリティのすべての項目を初期値に戻します。

Discard Changes
セットアップユーティリティのすべての項目を前回保存した値に戻します。

Save Changes
変更内容を保存します。

すべての設定を初期値に戻す

1 **「Exit」メニューをクリックします。**
設定項目が表示されます。

2 **「Load Setup Defaults」をクリックします。**
確認画面が表示されます。

3 **[OK]をクリックします。**

4 **「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」をクリックします。**

5 **「Save your changes and exit now?」と表示されたら、[OK]をクリックします。**
設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows Meが起動します。

付録 パソコンのお手入れ

お手入れをする際は、電源を切っておいてください。

キャビネット／通風孔

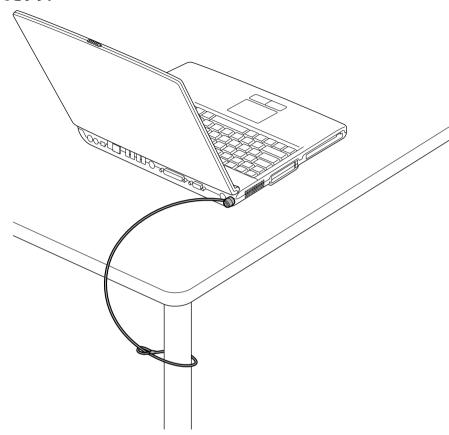
ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭きます。
通風孔にほこりなどが付着すると、本体の換気を妨げるおそれがあります。

ディスプレイ／パッド型ポインティングデバイス

ほこりの出ない乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、少量の中性洗剤を含ませて拭いてください。

お手入れの際に、アルコール、ベンジン、シンナーなどの強い化学薬品やぬれぞうきんは使用しないでください。変形・変色の原因となります。

付録 盗難を防止する

市販の盗難防止ロックを盗難防止ホール（ K ）につなぐと、パソコンを持ち運べないように固定することができます。

ご参考

盗難防止ホールは、マイクロセーバーセキュリティシステム等のセキュリティワイヤーに対応しています。製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社
〒 104-0032　東京都中央区八丁堀 1-5-2　はごろもビル
Tel：03-3537-1070　　Fax：03-3537-1071
URL：http://www.poladigital.co.jp/

付録 バックアップ電池を交換する

このパソコンには、バッテリ残量がなくなったときに備えて、セットアップユーティリティや日付・時刻などの情報を保持するためのバックアップ電池が装着されています。バックアップ電池がなくなった場合は、市販のリチウム電池（CR2032）と交換してください。

バックアップ電池交換時期について

バックアップ電池は、ACアダプタを取り外した状態のとき、約5年で電池がなくなります。電池がなくなると、セットアップユーティリティの設定情報が消えてしまいますので、起動時に「Press F1 to Continue, Del to Load CMOS defaults」と表示されます。セットアップユーティリティを初期値に戻しても、繰り返しこのメッセージが表示されるようになったときは、電池がなくなっている可能性があります。

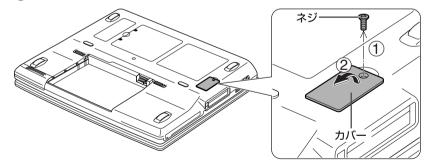
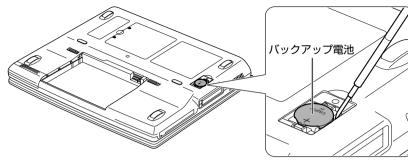
1 パソコンの電源を切り、AC アダプタとバッテリパックを取り外します。

バッテリパックの取り外し方については、バッテリパックを交換する（☞73 ページ）を参照してください。

必ずパソコンの電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取り外してください。故障の原因になります。

2 カバーを取り外します。

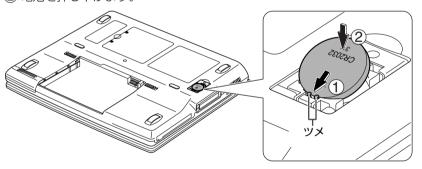
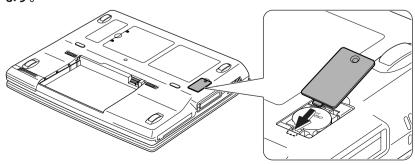
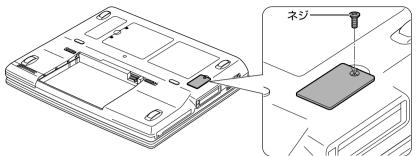
① カバーのネジを外します。

② カバーを取り外します。

3 先のとがったもので、バックアップ電池を取り出します。

ご注意

金属製のとがったものは、使用しないでください。周りの回路などに触れると、故障の原因になります。

4 +極(型番が記載されている面)を上にして、新しいバックアップ電池を取り付けます。

①電池の縁でツメを押しながら、

② 電池を押し下げます。

5 カバーのツメをパソコンの切り込み部にはめ込み、カバーを元の位置に戻します。

6 カバーをネジで固定します。

7 バッテリパックを取り付けます。

バッテリパックの取り付け方については、バッテリパックを交換する（☞73 ページ）を参照してください。

8 パソコンを表に返し、AC アダプタを接続します。

9 パソコンの電源を入れます。

しばらくすると、画面の下に「Press F1 to Continue, Del to Load CMOS defaults」と表示されます。メッセージが表示されるまでに約 1 分かかる場合があります。

10 Delete キーを押します。

Windows が起動します。

11 スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。

12 日付と時刻を設定し、[OK] をクリックします。

日付と時刻が変更されます。

13 セットアップユーティリティの内容を必要に応じて設定し直します。

ご購入時の状態でお使いになられていたときは、特に設定する必要はありません。セットアップユーティリティの設定方法については、セットアップユーティリティ（☞137 ページ）を参照してください。

付録 故障かな？と思ったら

“故障かな？”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。修理をご依頼になる前に、ここに記載されている内容をお確かめください。
トラブルによっては、パソコンの故障ではなく、Windows Me やアプリケーションソフト、または周辺機器に関するトラブルの場合もあります。次の説明書やヘルプもあわせて参照してください。

- スタートメニューの「ヘルプ」をクリックして表示されるヘルプ画面
- お使いのアプリケーションソフトの説明書、ヘルプ
- お使いの周辺機器の説明書

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル 150
画面表示に関するトラブル 151
キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル 152
フロッピーディスクに関するトラブル 153
ハードディスクに関するトラブル 153
CD・DVD に関するトラブル 154
通信に関するトラブル 155
周辺機器を使用する際のトラブル 157
その他のトラブル 158

それでも問題が解決しないときは

一度パソコンのハードディスクを初期化して、改めてご購入時の状態に戻すこと（再インストール）をお勧めします。付属のプロダクトリカバリ CD-ROMを使ってハードディスクの内容をご購入時の状態に戻すことができます。 詳しくは、**ご購入時の状態に戻す（再インストール）**（☞159 ページ）を参照してください。

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル

? 電源を入れても ランプ、または ランプが点灯しない

- AC アダプタが正しく接続されているか確認してください。
- 別の電気機器を電源コンセントに接続し、コンセントに電気がきているか確認してください。
- バッテリパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください。
- バッテリの容量が一定水準以下のときは、AC アダプタを接続してください。
- 上記すべての操作をしてもだめなときは、キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない（☞152 ページ）の操作をしてください。

?「Invalid system disk」と表示される

- フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされている場合は、フロッピーディスクを取り出し、何らかのキーを押してください。

? フロッピーディスクから起動できない

- フロッピーディスクドライブにセットしたフロッピーディスクが起動用かどうか確認してください。
- セットアップユーティリティ（☞137ページ）のMainメニューで「Boot Sequence」の「1st Boot Device」欄で「Floppy Disk Drive」に“•”マークが付いているか確認してください。

?「Press F1 to Continue, Del to Load CMOS defaults」と表示される

- セットアップユーティリティの設定が消えています。以下の手順に従って操作してください。
  ①「Press F1 to Continue, Del to Load CMOS defaults」と表示されているときに、**Delete** キーを押します。
  ② スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。
  ③ 日付や時刻を設定し、［OK］をクリックします。
  ④ セットアップユーティリティの内容を必要に応じて設定し直します。
  ご購入時の状態でお使いになられていたときは、特に設定する必要はありません。セットアップユーティリティの設定方法については、セットアップユーティリティ（☞137 ページ）を参照してください。
- 上記の操作を行っても、繰り返しこのメッセージが表示されるときは、バックアップ電池がなくなっている可能性があります。バックアップ電池を交換する（☞146 ページ）を参照して、新しい電池に交換してください。

?「Press ‘H’ to retry Hard Disk, any other key for floppy」と表示された

- 再インストールを途中で中止したときは、このメッセージが表示されます。その場合は、ハードディスク全体を再インストールする(☞172ページ)の手順に従って再インストールし直してください。

画面表示に関するトラブル

? 画面が表示されない

- 何らかのキーを押して省電力機能が働いていないか確認してください。
- パソコンの電源が入っているか確認してください。
- バッテリパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください。
- Fn ＋ F5 キーを数回押し、表示先が外部ディスプレイになっていないか確認してください。
- Fn ＋ F11 キーを押し、ディスプレイがオフになっていないか確認してください。
- 上記すべての操作をしてもだめなときは、キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない（☞ 次ページ）の操作をしてください。

? 外部ディスプレイに何も表示されない／表示される画面が乱れる

- 外部ディスプレイの電源が入っているか確認してください。
- 外部ディスプレイが正しく接続されているか確認してください。
- テレビを接続している場合は、テレビを取り外してください。
- Fn ＋ F5 キーを数回押し、表示先が内蔵ディスプレイになっていないか確認してください。
- Fn ＋ F5 キーで表示先を切り替えると、まれに画面が正常に表示されないことがあります。再度 Fn ＋ F5 キーで表示先を元に戻し、Windows Meのコントロールパネルの「画面」で表示先を変えてください。
- 画面の領域の設定が外部ディスプレイの解像度より大きくなっていないか確認してください。
- ラジオやテレビなど強い磁界が発生するものから、十分離して設置してください。
- ラジオやテレビなどと別のコンセントに接続してください。

? Fn ＋ F5 キーで画面が切り替わらない

- 動画の再生中やゲームソフトの起動時は、画面の表示先が切り替わらないことがあります。そのときは動画やゲームソフトを終了してください。
- Windows Meのコントロールパネルの「画面」で、表示先を切り替えてください。
- テレビ接続時は、 Fn ＋ F5 キーは、動作しません。

? *テレビに何も表示されない／表示される画面が乱れる*

（CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ搭載モデルのみ）

- テレビの電源が入っているか確認してください。
- テレビが正しく接続されているか確認してください。
- 外部ディスプレイを接続している場合は、外部ディスプレイを取り外してください。
- 以下の手順に従って、表示先をテレビに変更してください。

① スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「画面」アイコンをダブルクリックします。
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

②「設定」タブをクリックし、[詳細] をクリックします。

③「S3 Display」タブをクリックし、「TV」をクリックしてチェックマークを付けます。

④ [OK] をクリックします。

⑤ 確認画面で [OK] をクリックします。
テレビにパソコンの画面が表示されます。

⑥ 確認画面で [はい] をクリックします。

⑦ [OK] をクリックして、「画面のプロパティ」画面を閉じます。

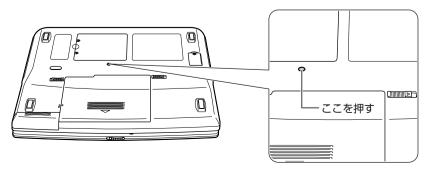
キーボード・パッド型ポインティングデバイスに関するトラブル

? *キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない*

- 以下の手順に従って操作してください。

① **Ctrl** ＋ **Alt** ＋ **Delete** キーを押し、表示される画面の指示に従って操作してください。

② 上記の操作をしてもだめなときは、電源ボタンを4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、その後 10 秒以上間隔をおいて再度電源を入れてください。

③ 上記の操作をしてもだめなときは、ハードディスクランプが点灯していないことを確認した上で、リセットスイッチを先のとがったもの（ボールペンなど）で押して電源を切り、その後 10 秒以上間隔をおいて電源を入れてください。

? パッド型ポインティングデバイスが正しく動作しない

- ポインティングデバイスのパッド面や手が、水や汗でぬれていないか確認してください。パッド面が汚れているときは、汚れを拭き取ってください。
- セットアップユーティリティ（☞137 ページ）の Advanced メニューで「Internal Pointing Device」に“√”マークが付いているか確認してください。

フロッピーディスクに関するトラブル

? フロッピーディスクへのデータの書き込みや読み取りができない

- フロッピーディスクが正しくセットされているか確認してください。
- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- フロッピーディスクがフォーマットされていないか、壊れている可能性があります。フォーマットするか、別のフロッピーディスクをセットしてください。
- フロッピーディスクに書き込めない場合は、書き込み禁止状態になっていないか確認してください。
- フロッピーディスクに書き込めない場合は、フロッピーディスクの空き容量が不足していないか確認してください。

? 1.2MB タイプのフロッピーディスクが使えない

1.2MB タイプのフロッピーディスクには、次の制限があります。

- 1.2MB タイプのディスクでは起動できません。
- 1.2MB タイプのフロッピーディスクにはフォーマットできません。
- SYS、DRVSPACE、DISKCOPY などのコマンドは実行できません。
- データを保存するときや1.44MBのディスクを使用するコンピュータとデータをやりとりするときは使わないでください。
- 特殊なフォーマットタイプ（2HD-1.21MBタイプなど）のディスクに対しては読み書きできません。

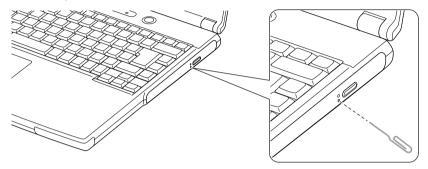
ハードディスクに関するトラブル

? ハードディスクへのデータの書き込みや読み取りができない

- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- ハードディスクの空き容量が不足していないか確認してください。

CD・DVDに関するトラブル

? ドライブが開かない

- パソコンの電源が入っているか確認してください。
- パソコンの電源を切ってから、トレイにある丸いスイッチを先のとがったもの(クリップを伸ばしたようなもの)で押してください。(通常はこの方法で開けないでください。)

? Windows Me CD-ROMを要求するメッセージが表示される

- 「ファイルのコピー元」に次のように入力してください。
  C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

? ディスクをセットしていないのに ランプが点灯する

- Windows MeのCDの「挿入の自動通知」機能が働いているためで、故障ではありません。

? データの読み取りができない/ファイルの再生ができない/CD-R/RWに書き込めない

- ディスクが正しくセットされているか確認してください。
- ドライブ、ファイル名の指定に誤りがないか確認してください。
- ディスクに汚れや傷がないか確認してください。
- 再生しようとしているディスクやファイルがサポートされているか確認してください。
- 以下の手順に従って、「挿入の自動通知」にチェックマークを付けてください。
  ① スタートメニューから「設定」-「コントロールパネル」をクリックし、「システム」アイコンをダブルクリックします。
  「システム」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。
  ②「デバイスマネージャ」タブをクリックし、「CD-ROM」をダブルクリックします。
  ③「MATSHITA UJDAXXX」をクリックし、[プロパティ]をクリックします。

④「設定」タブをクリックします。
⑤「挿入の自動通知」をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックします。
⑥ [閉じる] をクリックします。
⑦ 確認画面で、[はい] をクリックします。
Windows が再起動されます。

? *Windows Media Player で音楽 CD を再生したときに音が飛ぶ*

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① スタートメニューから「プログラム」ー「Windows Media Player」をクリックします。
  ②「ツール」メニューをクリックし、「オプション」をクリックします。
  プレーヤーにスキンを適用している場合は、「ツール」メニューが表示されません。 （フルモードに戻る）アイコンをクリックして、フルモードに戻してください。
  ③「CD オーディオ」タブをクリックします。
  ④「デジタル再生」をクリックしてチェックマークを外します。
  ⑤ [OK] をクリックします。
  上記手順で「デジタル再生」のチェックマークを外したときは、「音量の調整」画面で音楽 CD の音量を調節するときは「CD プレーヤー」の「音量」つまみで調節してください。

通信に関するトラブル

? *内蔵モデムで通信ができない*

- 電話回線がモデムジャックに正しく接続されているか確認してください。
- Windows Meや通信ソフトでのダイヤル方法(パルス式、トーン式)の設定が、接続された電話回線の種類と一致しているか確認してください。
- モデムの所在地情報の「国名／地域」が「日本」に設定されているか確認してください。
- ネットワーク関連の設定(ネームサーバアドレスなど)が正しいか確認してください。
- 接続する際に設定するユーザ名やパスワードが正しいか確認してください。
- 通信ソフトウェアの COM ポートが正しく設定されているか確認してください。
- Windowsの電源の管理のプロパティで「システムスタンバイ」が「なし」になっているか確認してください。

- 回線ルート自動切替装置を取り付けていませんか？
  電話料金がもっとも安くなる回線を自動的に選択する装置を取り付けている場合は、モデムが正常に働かない可能性があります。装置を取り外すか、装置のメーカーにご相談ください。
- ホームテレホンやビジネスホンに接続していませんか？
  ホームテレホン、ビジネスホン、ボタン電話、キーテレホンなど多機能電話のジャックに、内蔵モデムを接続することはできません。切替機を用いて電話とモデムを切り替える必要があります。切替機については、多機能電話のメーカーにお問い合わせください。
- 構内交換機（PBX）に接続していませんか？
  構内交換機（PBX）にはデジタル回線のものがあり、その場合は内蔵モデムが使えません。PBXの保守部門やサービス会社に問い合わせて、家庭用一般電話回線と同等であることを確認してください。
- キャッチホンを利用していませんか？
  NTTのキャッチホンサービスを利用していると、別の電話がかかってきたとき、通信が中断します。キャッチホンIIを利用すると、その心配がなくなります。詳しくは、ご契約の電話会社（NTTなど）にお問い合わせください。

? 内蔵モデムでの通信速度が遅い

- 開いているアプリケーションソフトの数をできるだけ減らしてください。
- 接続先や時間帯を変えてみてください。

? 内蔵LANでハブに接続してもうまく使えない

- ネットワークの設定がネットワーク環境に合っていない可能性があります。下記の操作に従ってネットワークの設定を確かめてください。
  ① スタートメニューから「設定」ー「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
  「ネットワーク」アイコンが見つからないときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックして表示させてください。
  ②「現在のネットワークコンポーネント」欄の「VIA PCI 10/100Mb Fast Ethernet Adapter」を選択し、［プロパティ］をクリックします。
  ③「詳細設定」タブをクリックし、「プロパティ」欄の「Connection Type」を選択します。
  ④「値」を使用する環境に合った値に変更します。
  ⑤［OK］をクリックして「ネットワーク」画面に戻り、［OK］をクリックします。
  ⑥ 確認画面で、［はい］をクリックします。
  Windowsが再起動します。

周辺機器を使用する際のトラブル

? 増設機器や周辺機器の機能が働かない

- 周辺機器が Windows Me に対応しているか確認してください。
- 機器が正しく取り付けられているか確認してください。
- 拡張した機器に必要なデバイスドライバが組み込まれているか確認してください。

? プリンタへの出力ができない

- プリンタの電源が入っているか確認してください。
- プリンタが正しく接続されているか確認してください。
- プリンタが印字可能状態か確認してください。
- 用紙が正しくセットされているか確認してください。
- プリンタドライバがインストールされているか確認してください。

? 接続した通信機器が正常に動作しない

- Windowsの電源の管理のプロパティで「システムスタンバイ」と「システム休止状態」が「なし」になっているか確認してください。それでも通信できないときは、「ハードディスクの電源を切る」を「なし」に設定してください。

? パソコンリンク機能付き MD ポータブルレコーダを接続して録音したときに音がとぶ

- 動作状況によっては音とびが発生する場合があります。音とびを極力防ぐため、MD へ録音するときは、録音に関係ないソフトウェアはすべて終了させてください。

? 接続した光デジタルオーディオ機器に音が出力されない。

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① タスクバーの をダブルクリックします。
  「音量の調整」画面が表示されます。
  ②「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。
  ③「表示するコントロール」欄で「SPDIF インターフェイス」をクリックしてチェックマークを付け、[OK] をクリックします。
  ④「音量の調整」画面で「SPDIF インターフ」の「ミュート」にチェックマークが付いていないか確認します。チェックマークが付いている場合は、クリックしてチェックマークを外します。
  ⑤「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。
  ⑥「表示するコントロール」欄で「SPDIF インターフェイス」をクリックしてチェックマークを外し、[OK] をクリックします。
  ⑦ 画面右上の をクリックして「音量の調整」画面を閉じます。

その他のトラブル

? バッテリパックを充電してもすぐに空になる

- バッテリパックを初期化してください。(☞73 ページ)

? 日本語の入力ができない

- 日本語入力システムがオンになっているか確認してください。(☞84 ページ)

? 日付と時刻が正しく表示されない

- 「コントロールパネル」の「日付と時刻」で設定し直してください。

? 音が鳴らない

- 音量が最小、またはミュートに設定されていないか確認してください。
- **Fn** ＋ **F4** キーを押し、音量が最小になっていないか確認してください。

? 電源が切れない

- キーボードやパッド型ポインティングデバイスからの入力操作を受け付けない(☞152 ページ)の操作をしてください。

? 本体が熱くなる

- バッテリ充電中に、バッテリパックおよびその周辺やキーボードの手前側が熱くなることがありますが、故障ではありません。

? 「リソース不足」のメッセージが表示される

- 起動中の不要なアプリケーションソフトを終了してください。

? マイクからの音声を入力できない

- 以下の手順に従って操作してください。
  ① タスクバーの をダブルクリックします。
  ②「オプション」メニューをクリックし、「プロパティ」をクリックします。
  ③「音量の調整」欄の「録音」をクリックし、[OK] をクリックします。
  ④「録音の調節」画面で「マイク」の「選択」にチェックマークが付いているか確認してください。

付録 ご購入時の状態に戻す（再インストール）

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻す（再インストールする）方法について説明します。
再インストールすると、ハードディスクの内容はすべて消去されてしまいます。再インストールが必要かどうかよく確認してから始めてください。

ご参考

故障かな？と思ったら（☞149ページ）に問題が起こったときの解決方法が書かれています。再インストールをする前に、あてはまる項目がないか調べてみてください。

再インストールの準備をする

大切なデータをバックアップする

再インストールすると、ご購入後にハードディスクに保存されたファイルや、インストールされたアプリケーションソフトなども消えてしまいます。大切なデータは、再インストールをする前に必ずバックアップしておいてください。（☞105 ページ）
また、再インストールすると、インターネットなどの設定をし直す必要があります。現在の設定内容を必ずメモに控えてください。（☞109 ページ）

必要なものを準備する

CD-ROM

- プロダクトリカバリ CD-ROM（3 枚）

説明書

- はじめにお読みください

Microsoft Office XP Personal パック

- Microsoft Office XP Personal の CD-ROM
- Microsoft Bookshelf Basic 3.0 の CD-ROM
- セットアップガイド

ご参考

付属の CD-ROM は他のパソコンでは使用できません。
また、再発行はできませんので、なくさないよう大切に保管してください。

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

再インストールをするときには、PowerQuest EasyRestoreを使用します。再インストールの前に、下記の「PowerQuest Corporationソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

PowerQuest Corporationソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書(以下「契約書」)は、お客様とPowerQuest Corporationとの間に締結される法的な契約書です。同封のソフトウェアを使用することにより、本契約書の各条項に同意したことになります。本契約書で言う「ソフトウェア製品」とは、本契約書が添付されたCDやディスク媒体、またはネットワークからロードされるEasyRestoreソフトウェアを意味します。

1. 所有権

ソフトウェア製品はPowerQuest Corporation(以下「PowerQuest」)またはそのライセンサーが有するものであり、著作権法および国際条約の規定により保護されています。ソフトウェア製品、その複製物、修正物、構成部分についての権原および著作権は、PowerQuestまたはそのライセンサーに帰属します。

2. ライセンスの許諾

本契約書はお客様に以下の権利を許諾します。
- ソフトウェア製品は、コンピュータシステムに既にインストールされているソフトウェアのバックアップ目的で作成されたイメージファイルに付属して提供され、当該イメージファイルを復元する目的にのみ使用することができます。
- ソフトウェア製品は、当該イメージファイルが付属して提供された特定のコンピュータシステムでのみ、使用することができます。

3. 使用制限

PowerQuestの許可なく、
(a) 本契約書で許諾された範囲を超えて、ソフトウェア製品の使用、複製、改造、修正してはならず、電子的または他の方法で転送することはできません。
(b) ソフトウェアを翻訳、リバースプログラム、逆アセンブルまたは逆コンパイル、またはその他の方法でリバースエンジニアリングすることはできません。

4. 技術サポート

ソフトウェア製品へのサポートは、PowerQuestおよび日本総代理店である(株)ネットジャパンが提供するものではありません。製品サポートに関しては、ソフトウェア製品をお客様に販売した供給者にお問い合わせください。

5. アメリカ合衆国政府が制限されている権利

お客様が、アメリカ合衆国政府の省庁、またはその機関に代わってソフトウェア製品を取得する場合には、以下の規定が適用されます。
- ソフトウェア製品がプライベートな費用で開発されており、いかなる部分もパブリックドメインからの流用ではないこと。
- ソフトウェア製品が制限された権利と共に供給されていること。
- 政府が使用、複製、または開示を行なう場合は、DFARS 第252.227-7013の条項に定める技術
  データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利の補節 (c) (1)(ii)､また48 CFR 第52.227-19に定める商用コンピュータソフトウェアー制限された権利の補節 (c) (1) および(2)の規制に従うものとします。契約者／製造元は、PowerQuest Corporation / P.O.Box 1911 Orem, UTA 84059-1911です。

6. 限定保証

PowerQuestは、ソフトウェア製品について、お客様に直接に保証するものではありません。
PowerQuestは、ソフトウェア製品を販売した供給者に対して、ソフトウェア製品がドキュメントに従って動作することを保証してます。
ソフトウェア製品がドキュメントに従って動作しない場合にPowerQuestは修復し、当該供給者が修復後のソフトウェア製品を配布することを認めます。

7. 責任の制限

PowerQuestおよび供給者は、いかなる場合においても、ソフトウェア製品の使用または使用不能から生じるいかなる損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含むがこれらに限定されない)について、責任を負いません。例え、PowerQuestがかかる損害の可能性について通知を受けていた場合であっても、同様です。

本契約書は、対象条項に関するお客様とPowerQuest間の完全な合意を構成するものです。本契約書は、(法の抵触の諸原則以外は)ユタ州法を準拠法とします。

詳細：本使用許諾契約に関する質問がある場合は、PowerQuestか、日本総代理店である(株)ネットジャパン宛、書面にて連絡してください。

PowerQuest Corporation / P.O.Box 1911 Orem, UTA 84059-1911
(株)ネットジャパン／〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-18-3

パソコンを準備する

1 パソコンの電源が切れていることを確認します。

2 パソコンに周辺機器（USB 機器、PC カードなど）が接続されている場合は、周辺機器を取り外します。

3 パソコンに AC アダプタを取り付けます。

必ずACアダプタは接続しておいてください。バッテリで操作していると、途中でバッテリ残量がなくなったとき、再インストールが完了できなくなります。

再インストールの手順を確認する

再インストールは以下の手順でします。

Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する

⇩

Step2 プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする

⇩

Step3 Windows Me をセットアップする

⇩

Step4 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

⇩

Step5 Office XP Personal パックの内容を再インストールする

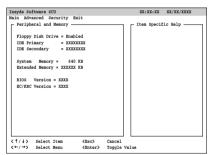
⇩

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

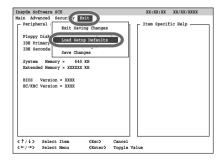
再インストールする

Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する

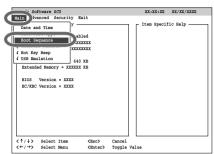
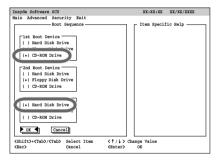
1 **パソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

2 **「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 1」をドライブにセットします。**

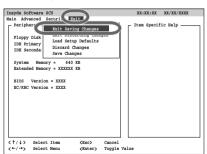
3 **設定を初期値に変更します。**

① 「Exit」メニューをクリックし、「Load Setup Defaults」(すべての項目を初期値に戻す)をクリックします。

② 確認画面が表示されたら、[OK] をクリックします。

4 **CD-ROM から起動するようにします。**

① 「Main」メニューをクリックし、「Boot Sequence」をクリックします。

② 「1st Boot Device」欄の「CD-ROM Drive」をクリックし、「3rd Boot Device」欄の「Hard Disk Drive」をクリックします。

③ [OK] をクリックします。

5 **設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。**

① 「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」(変更内容を保存して終了) をクリックします。

② 確認画面が表示されたら、[OK] をクリックします。
パソコンが再起動されます。

6 **次の「Step2 プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする」に進みます。**

Step2 プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする

ここではＤドライブの内容はそのままにして、Ｃドライブのみをご購入時の状態に復元する方法を説明します。
この操作では、Ｄドライブはフォーマットされません。

パソコンが起動した後、次の画面が表示されます。

ご参考

- ハードディスク全体をご購入時の状態に復元することができます。**ハードディスク全体を再インストールする**（☞172ページ）を参照してください。
- ハードディスクのＣドライブとＤドライブの容量を変更して、Ｃドライブにご購入時のハードディスクの内容を復元することができます。**任意のサイズにハードディスク容量を分割して再インストールする**（☞174 ページ）を参照してください。

1 「C：ドライブのみをご購入時の状態に復元します（推奨）」が選択されていることを確認し、［⏎］キーを押します。

「終了します」を選択したときは

「終了します」を選択し、［⏎］キーを押すと、E:¥>が表示されます。「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 1」をドライブから取り出し、電源ボタンを押して電源を切ってください。

2 **[↓] [↑] キーで「C：ドライブの復元を開始」を選択し、[⏎] キーを押します。**

C ドライブのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。
フォーマットと復元が完了するまでに、約 35 分かかります。

ご注意

フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。「ファイル”R:＼MEBIUS.002”が入っているメディア 2 をドライブ R: に挿入してください」と表示されるまで、何も操作しないでください。
再インストールを途中で中止してしまうと、C ドライブだけでなく D ドライブにバックアップしたデータも削除されてしまいます。その場合は、ハードディスク全体を再インストールする（☞172ページ）の手順に従って再インストールし直してください。

3 **「ファイル”R:＼MEBIUS.002”が入っているメディア 2 をドライブ R:に挿入してください」と表示されたら、ドライブを開いて「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 1」を取り出し、「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 2」をセットします。**

4 **[OK] が選択されていることを確認し、[⏎] キーを押します。**

5 **「ファイル”R:＼MEBIUS.003”が入っているメディア 3 をドライブ R:に挿入してください」と表示されたら、ドライブを開いて「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 2」を取り出し、「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 3」をセットします。**

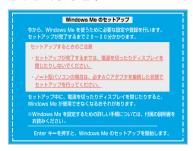
6 **[OK] が選択されていることを確認し、[⏎] キーを押します。**

7 **「ハードディスクのリカバリ処理が終了しました」と表示されたら、自動的にドライブが開きますので、「プロダクトリカバリ CD-ROM ディスク 3」を取り出します。**

8 **次の「Step3　Windows Me をセットアップする」に進みます。**

Step3 Windows Me をセットアップする

「ハードディスクのリカバリ処理が終了しました」と表示された後、パソコンが再起動されます。

しばらくすると「Windows Me のセットアップ」画面が表示されます。

1 **「はじめにお読みください」(別冊)の「Step3 Windows Meのセットアップ」の手順3～手順25を参照して、Windows Meをセットアップします。**

ただし、オンラインユーザ登録はする必要がありませんので、省略して進んでください。

2 **Windows が起動されたら、モデムの所在地情報の「国名／地域」を「日本」に設定します。**

設定方法については、使用する電話回線の情報を登録する(☞30ページ)を参照してください。

3 **次の「Step4 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す」に進みます。**

Step4 セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

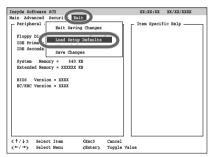
Windows が起動された状態から作業します。

1 **Windows を終了します。**

2 **約 10 秒待ってからパソコンの電源を入れ、画面の左下に「<F2>to enter System Configuration Utility」と表示されているとき、F2 キーを押します。**

セットアップユーティリティの画面が表示されます。

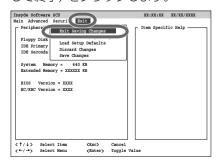
3 設定を初期値に変更します。

①「Exit」メニューをクリックし、「Load Setup Defaults」（すべての項目を初期値に戻す）をクリックします。

② 確認画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

ご参考

セットアップユーティリティの項目は、必要に応じて設定し直してください。

4 設定を保存してセットアップユーティリティを終了します。

①「Exit」メニューをクリックし、「Exit Saving Changes」（変更内容を保存して終了）をクリックします。

② 確認画面が表示されたら、［OK］をクリックします。
パソコンが再起動されます。

5 Windowsが起動されたら、次の「Step5 Office XP Personalパックの内容を再インストールする」に進みます。

Step 5 Office XP Personalパックの内容を再インストールする

1 Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Outlook、Microsoft IMEをインストールします。

① 「Microsoft Office XP Personal」のCD-ROMをドライブにセットします。
「Microsoft Office XPセットアップ」画面が表示されます。

② Office XP Personalパックに付属のセットアップガイドを参照してインストールします。
次の画面では、「完全」を選択してください。

2 Office XP Personal のインストールが完了し、パソコンを再起動後、Office XP Personalの音声認識機能とインデックス検索機能、および「Webデバッグツール」を削除（アンインストール）します。

① スタートメニューから「設定」－「コントロールパネル」をクリックし、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面が表示されます。

② リストから、「Microsoft Office XP Personal」をクリックして選択し、［追加と削除］をクリックします。

③「機能の追加／削除」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

④「Microsoft Excel for Windows」の横にある ⊞ をクリックします。

⑤ 「読み上げ」の横にある をクリックし、「インストールしない」をクリックします。

が に変わります。

⑥ 「Microsoft Excel for Windows」の横にある をクリックします。

⑦ 「Office 共有機能」の横にある をクリックします。

⑧ 「入力システムの拡張」の横にある をクリックします。

⑨ 「音声」の横にある をクリックし、「インストールしない」をクリックします。

が に変わります。

⑩ 「Office 共有機能」の横にある をクリックします。

⑪ 「Office ツール」の横にある をクリックします。

⑫ 「HTML ソース編集」の横にある をクリックします。

⑬ 「Web スクリプト編集」の横にある をクリックします。

⑭ 「Webデバッグツール」の横にある をクリックし、「インストールしない」をクリックします。

が に変わります。

⑮ 「高速検索のサポート」の横にある をクリックし、「インストールしない」をクリックします。

が に変わります。

⑯ [更新] をクリックします。

⑰ 「Microsoft Officeのインストールが正常にアップデートされました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

⑱ [はい] をクリックします。

パソコンが再起動されます。

3 **Microsoft Bookshelf Basic をインストールします。**

① ドライブを開いて「Microsoft Office XP Personal」の CD-ROM を取り出し、「Microsoft Bookshelf Basic 3.0」の CD-ROM をドライブにセットします。

「Microsoft Bookshelf Basic Version 3.0- ウィザード」画面が表示されます。

② 画面に表示される指示に従って、Microsoft Bookshelf Basic をインストールします。

次の画面では、「標準」を選択してください。

4 **これで再インストールは完了です。ドライブを開いて「Microsoft Bookshelf Basic 3.0」の CD-ROM を取り出してください。**

ライセンス認証ウィザードについて

再インストール後、Microsoft Word、Microsoft Excel または Microsoft Outlook のいずれかを起動すると、「Office XP 使用許諾契約書」画面が表示されます。使用許諾契約書に同意すると、「Microsoft Office XP Personal ライセンス認証ウィザード」画面が表示されますので、このウィザードを使ってライセンス認証をしてください。詳しくは、Office XP Personalパックに付属のセットアップガイドを参照してください。

その他の方法で再インストールする

ハードディスク全体をご購入時の状態に戻したり、C ドライブとD ドライブの容量を設定し、Cドライブのみをご購入時の状態に戻すことができます。いずれも、ハードディスクの内容はすべて削除されます。

ハードディスク全体を再インストールする

ハードディスク全体をフォーマットして、ご購入時の状態に復元します。C ドライブと D ドライブの容量はご購入時の状態になります。

この操作では、C ドライブだけでなく、D ドライブにバックアップしているデータもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールする前にフロッピーディスクや CD-R などにバックアップしてください。

1 **「Step1　セットアップユーティリティの設定を変更する」(☞162ページ)の手順 1 ～ 5 の作業をします。**

作業が終了し、パソコンが再起動された後、 次の画面が表示されます。

2 **↓ ↑ キーで「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します」を選択し、⏎ キーを押します。**

3 [↓] [↑] キーで「ハードディスクの復元を開始」を選択し、[⏎] キーを押します。

ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。「ファイル" R:＼MEBIUS.002" が入っているメディア 2 をドライブ R: に挿入してください」と表示されるまで、何も操作しないでください。再インストールを途中で中止してしまうと Windows を起動できなくなります。その場合は、手順**1**から再インストールし直してください。

4 **「Step2 プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする」の手順 3（☞165 ページ）に進みます。**

任意のサイズにハードディスク容量を分割して再インストールする

ハードディスク全体をフォーマットして、任意のサイズのCドライブとDドライブに設定し、Cドライブのみをご購入時の状態に復元します。

この操作では、Cドライブだけでなく、Dドライブにバックアップしているデータもすべて削除されます。大切なデータは、再インストールする前にフロッピーディスクやCD-Rなどにバックアップしてください。

1 **「Step1 セットアップユーティリティの設定を変更する」（☞162ページ）の手順1～5の作業をします。**

作業が終了し、パソコンが再起動された後、 次の画面が表示されます。

2 **[↓] [↑] キーで「C：ドライブとD：ドライブのサイズを指定して復元します」を選択し、[Enter] キーを押します。**

3 **[↓] [↑] キーでCドライブの容量を選択し、[Enter] キーを押します。**

（CD-R/RW & DVD-ROMドライブ搭載モデルでは、画面が異なります。）

4 [↓] [↑] キーで「ハードディスクの復元を開始」を選択し、[⏎] キーを押します。

ハードディスクのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。「ファイル" R:＼MEBIUS.002" が入っているメディア 2 をドライブ R: に挿入してください」と表示されるまで、何も操作しないでください。再インストールを途中で中止してしまうと Windows を起動できなくなります。その場合は、手順**1**から再インストールし直してください。

5 **「Step2 プロダクトリカバリ CD-ROM の内容を再インストールする」の手順 3（☞165 ページ）に進みます。**

付録 各部の名称

前面

マイク

ディスプレイ
（☞89ページ）

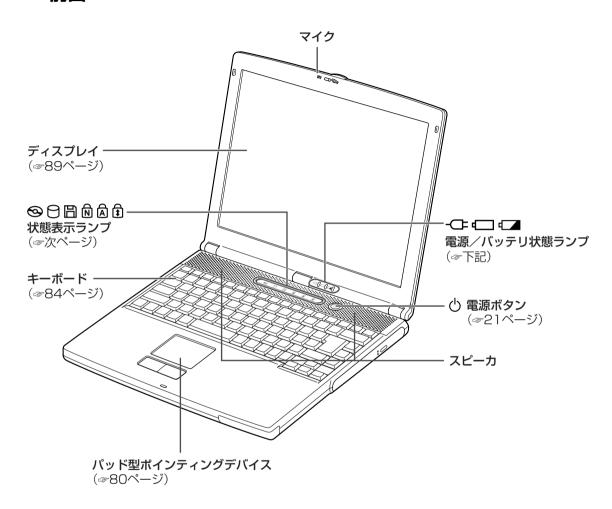
状態表示ランプ
（☞次ページ）

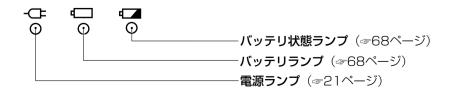
キーボード
（☞84ページ）

電源／バッテリ状態ランプ
（☞下記）

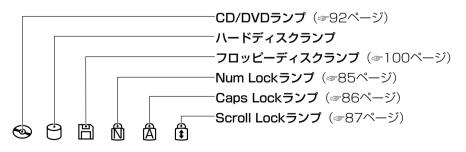
電源ボタン
（☞21ページ）

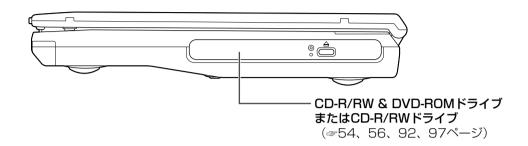
スピーカ

パッド型ポインティングデバイス
（☞80ページ）

電源／バッテリ状態ランプ

電源のオン／オフ、バッテリの充電状態がわかります。

ランプ	状態	説明
電源ランプ	緑点灯	AC アダプタで動作している。
	緑点滅	スタンバイ状態。(AC アダプタ使用時)
	消灯	電源が切れているかバッテリで動作している。
バッテリランプ	緑点灯	バッテリで動作している。
	緑点滅	スタンバイ状態。(バッテリ使用時)
	消灯	電源が切れているか AC アダプタで動作している。
バッテリ状態ランプ	**AC アダプタを接続しているとき**	
	緑点灯	バッテリが満充電されている。
	オレンジ点灯	バッテリを充電中。
	オレンジ点滅	バッテリまたはパソコンの充電回路に異常がある。
	AC アダプタを接続していないとき (電源オン状態)	
	赤点滅	バッテリ残量が少ない。さらに使用し続けてバッテリ残量が非常に少なくなると、警告音が鳴ります。
	消灯	バッテリ残量がある。
	AC アダプタを接続していないとき (電源オフ状態)	
	消灯	常に消灯状態になります。

状態表示ランプ

ハードディスクにアクセス中に点灯するランプと、キーボードの入力モードを表示するランプがあります。

ランプが点灯中は、電源を切らないでください。データが失われたり、破壊されることがあります。

右側面

ドライブで使用可能なディスク

内蔵ドライブ ＼ ディスク	CD-ROM	CD-R/RW		DVD-ROM
	読み出し再生	読み出し再生	書き込み	読み出し再生
CD-R/RW & DVD-ROM	○	○	○	○
CD-R/RW	○	○	○	×

左側面

後面

マイクジャック
（☞127ページ）

ヘッドホン／オーディオ／
光デジタルオーディオ
出力ジャック
（☞55、65、66ページ）

IEEE1394コネクタ IEEE 1394
(DVコネクタ)
（CD-R/RW & DVD-ROM
ドライブ搭載モデルのみ）
（☞116ページ）

モデムジャック
（☞27ページ）

LANジャック
（☞49ページ）

ディスプレイコネクタ
（☞120ページ）

ACアダプタジャック
（☞20ページ）

盗難防止ホール
（☞145ページ）

プリンタコネクタ
（☞118ページ）

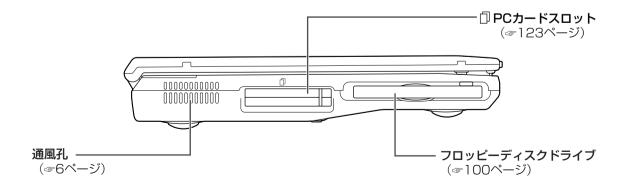
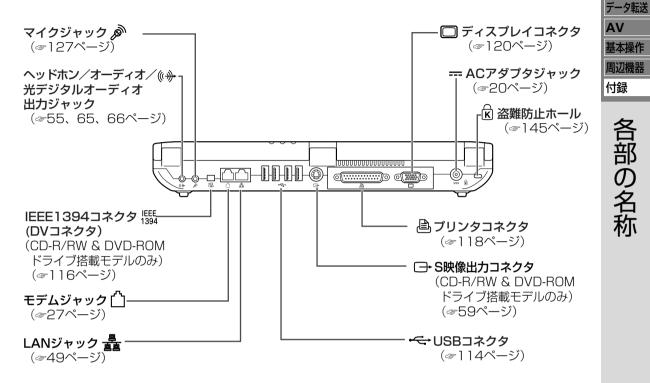
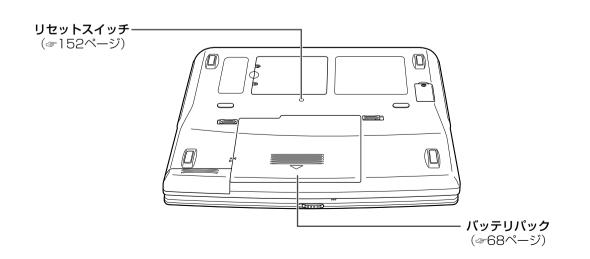
S映像出力コネクタ
（CD-R/RW & DVD-ROM
ドライブ搭載モデルのみ）
（☞59ページ）

USBコネクタ
（☞114ページ）

底面

リセットスイッチ
（☞152ページ）

バッテリパック
（☞68ページ）

付録 さくいん

記号・アルファベット

AC アダプタ ………… 20
AC アダプタジャック ………… 20、179
AV ………… 53
Caps Lock ランプ ………… 86、177
CD（コンパクトディスク）
　入れ方 ………… 92
　お手入れ ………… 95
　音楽 CD ………… 54
　関連するトラブル ………… 154
　出し方 ………… 94
　取り扱い ………… 94
CD-R/RW
　CD-R ………… 97
　CD-R/RW ドライブ ………… 54、92、97、178
　CD-RW ………… 97
　お手入れ ………… 95
　関連するトラブル ………… 154
　推奨ディスク ………… 97
CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ
　………… 54、56、92、97、178
CD/DVD ランプ ………… 92、177
CF カード
　…………「コンパクトフラッシュカード」参照
CRT ディスプレイ ………… 120
DSU ………… 26
DVD
　DVD-ROM ………… 92
　DVD-ROM ドライブ
　　…「CD-R/RW & DVD-ROM ドライブ」参照
　DVD ビデオ ………… 56
　入れ方 ………… 56、92
　お手入れ ………… 95
　関連するトラブル ………… 154
　再生する ………… 56
　出し方 ………… 94
　取り扱い ………… 94
　ドルビーデジタルサウンド ………… 58
　ドルビーヘッドフォン ………… 59
　パレンタルロック（視聴制限）レベル ………… 58
　リージョン番号 ………… 58
E メール …………「電子メール」参照
FD …………「フロッピーディスク」参照
IEEE1394 コネクタ ………… 116、179
ISDN 回線 ………… 24、26、29
LAN ケーブル ………… 49
LAN ジャック ………… 49、179
MD（ミニディスク） ………… 62
Num Lock ランプ ………… 85、177
PC カード
　PCMCIA ………… 123
　PC カード型アダプタ ………… 43、124
　PC カードスロット ………… 123、178
　差し込む ………… 124
　種類 ………… 123
　取り出す ………… 125
RAM ボード ………… 128
Scroll Lock ランプ ………… 87、177
SD メモリカード ………… 42
S 映像出力コネクタ ………… 59、179
TA（ターミナルアダプタ） ………… 26、29、124
TFT カラー液晶パネル ………… 7
USB コネクタ ………… 114、179
Windows 起動時のトラブル ………… 150

ア行

アナログ音声の入力 ………… 127
アナログ回線 …………「家庭用一般電話回線」
アンプ付きスピーカ ………… 55
色数 ………… 89
印刷する ………… 118
インストール
　ドライバソフト ………… 112

インターネット
　準備をする ………… 24
　プロバイダ ………… 25
インターネットビューカム ………… 44
お手入れ
　CD（コンパクトディスク） ………… 「CD」参照
　パソコン ………… 144
音楽 CD
　オリジナル音楽 CD を作る ………… 97
　再生する ………… 54
音声を入力する
　アナログ音声入力 ………… 127
　外部マイクから ………… 127
音量調節
　Windows ………… 104
　Windows Media Player ………… 54
　WinDVD ………… 57
　キーボード操作 ………… 103

カ行

カード型 PHS ………… 39
外線発信番号 ………… 30
解像度 ………… 89、122
書き込み禁止タブ ………… 99
家庭用一般電話回線 ………… 26、27
壁紙 ………… 90
画面 ………… 「ディスプレイ」参照
キーボード
　関連するトラブル ………… 152
　使う ………… 84
休止状態 ………… 77
クリック ………… 81、82
携帯電話
　接続する ………… 35
コア ………… 27、47、49
コネクタの形状 ………… 112
コンパクトディスク ………… 「CD」参照
コンパクトフラッシュカード ………… 42

サ行

再インストール ………… 159
ザウルス ………… 42
シャープ True Type フォント ………… 134
周辺機器
　使用時のトラブル ………… 157
　接続可能な周辺機器 ………… 112
省電力機能 ………… 76
初期値に戻す ………… 143
数字キーロックモード ………… 85
スクロール ………… 83
スタンバイ ………… 77
スピーカ
　アンプ付きスピーカ ………… 55
　スピーカ ………… 176
スマートメディア ………… 43
セットアップユーティリティ ………… 137
増設 RAM ボード ………… 128

タ行

ターミナルアダプタ ………… 「TA」参照
ダブルクリック ………… 81、82
通信
　LAN ………… 49
　インターネット ………… 23
　関連するトラブル ………… 155
通風孔 ………… 6、178
ディスプレイ
　明るさを変える ………… 89
　色数を変える ………… 89
　解像度を変える ………… 89
　壁紙を変える ………… 90
　画面表示に関するトラブル ………… 151
　ディスプレイコネクタ ………… 120、179
　同時に表示する ………… 122
　表示先を切り替える ………… 121

データ
CD-R/RW に書き込む 97
転送 41
取り込む 44
バックアップ 105
フロッピーディスクに保存 99
デジタル
デジタル回線 ..... 24、26、29
デジタルカメラ 44
デジタル携帯電話アダプタ 35
デジタルビデオカメラ 46
録音 62
テレビ
接続する 59
テンキーロックモード
..... 「数字キーロックモード」参照
電源
入れたときのトラブル 150
入れる 20
切る 22
電源の管理 76
ボタン ..... 21、176
ランプ ..... 21、176
電子メール 24
電話回線
外線発信番号の設定 30
構内交換機（PBX） 27
種類 26
接続する 27
使い分ける 33
盗難防止ホール 145
ドライバソフト 112
ドラッグ ..... 81、82
ドラッグ＆ドロップ ..... 81、82
ドルビーデジタルサウンド 58
ドルビーヘッドホン 59

ナ行

日本語入力システム 84
ネットワーク（LAN） 49

ハ行

ハードディスク
関連するトラブル 153
電源を切る 76
ハードディスクランプ 177
パスワード
パソコン起動時用 141
バックアップ
IME のユーザ辞書 110
Outlook Express 107
お気に入り 107
ダイアルアップの設定 109
ネットワークの設定 109
ファイル 106
バックアップ電池
交換する 146
バッテリ警告音 71
バッテリ状態ランプ ..... 68、176
バッテリパック
交換する 73
残量確認 70
充電する 68
初期化する 73
バッテリランプ ..... 68、176
パッド 80
パッド型ポインティングデバイス
関連するトラブル 152
使う 80
ハブ（LAN） 49
パラレルインタフェース 113
光デジタルオーディオ出力ジャック
..... 55、65、66、179
ビデオカメラ 46

フォーマット
　フロッピーディスク 101
フォント
　シャープ True Type フォント 134
プリンタ
　接続する 118
　プリンタコネクタ .... 118、179
プロダクトリカバリ CD-ROM 159
フロッピーディスク
　関連するトラブル 153
　初期化する 101
　取り扱いについて 102
　フォーマット 101
　フロッピーディスクドライブ .... 100、178
　フロッピーディスクランプ .... 100、177
　保存する 99
プロバイダ 25
ヘッドホン 55
ヘッドホン／オーディオ／光デジタルオーディオ
出力ジャック .... 55、65、66、179
ポインタ 80
ポインティングデバイス 80
ポイントする 80

マ行

マイク
　外部マイク 127
　内蔵マイク 176
　マイクジャック .... 127、179
右クリック 81
メール .... 「電子メール」参照
メモリ
　増設する 128
　容量の確認 131
メモリカード .... 42、123
文字入力 84
モジュラージャック .... 26、27
モデム 26
モデムジャック .... 27、179

ラ行

リカバリ .... 「再インストール」参照
リセットスイッチ .... 152、179
録音
　CD から MD に 62
　録音前の準備 62

ワ行

ワイヤレス LAN カード 50
ワイヤレス LAN ステーション 50

さくいん